

# I 神奈川県工業生産の動向

## 1 概要 —生産指数は前年比△3.6%と2年連続して低下—

### (1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、99.7で前年比3.6%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比1.5%低下し3期ぶりの低下、Ⅱ期は同0.5%上昇、Ⅲ期は同3.6%低下、Ⅳ期も同3.2%低下しました。

#### <全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、101.1で前年比3.0%低下し、4年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比2.1%低下し2期ぶりの低下、Ⅱ期は同0.0%の横ばい、Ⅲ期は同1.1%低下、Ⅳ期も同3.6%低下しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、99.3で前年比3.7%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比3.0%低下し4期ぶりの低下、Ⅱ期は同0.9%上昇、Ⅲ期は同1.8%低下、Ⅳ期も同4.1%低下しました。

### (2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、97.7で前年比4.3%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比2.8%低下し2期ぶりの低下、Ⅱ期は同2.0%上昇、Ⅲ期は同4.3%低下、Ⅳ期も同3.2%低下しました。

### (3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、114.1で前年末比12.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期末比1.4%低下し3期連続して低下、Ⅱ期は同1.8%上昇、Ⅲ期も同6.1%上昇、Ⅳ期も同4.2%上昇しました。

## ◎ 年間の動き

以上のように、生産・出荷指数（季節調整済指数）は、Ⅰ期、Ⅲ期、Ⅳ期は低下、Ⅱ期は上昇しました。在庫指数（同）の前期末比では、Ⅰ期は低下、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期は上昇しました。

また、生産（原指数）の前年同期比では、各期とも低下しました。出荷指数（同）の前年同期比では、Ⅰ期、Ⅲ期、Ⅳ期は低下、Ⅱ期は横ばいでした。在庫指数（同）の前年同期末比はⅠ期、Ⅱ期は低下、Ⅲ期、Ⅳ期は上昇しました。

県内の工業生産は2年連続して低下し、2019年は輸送機械工業や汎用機械工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産の前年同期比では、各期とも低下しました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

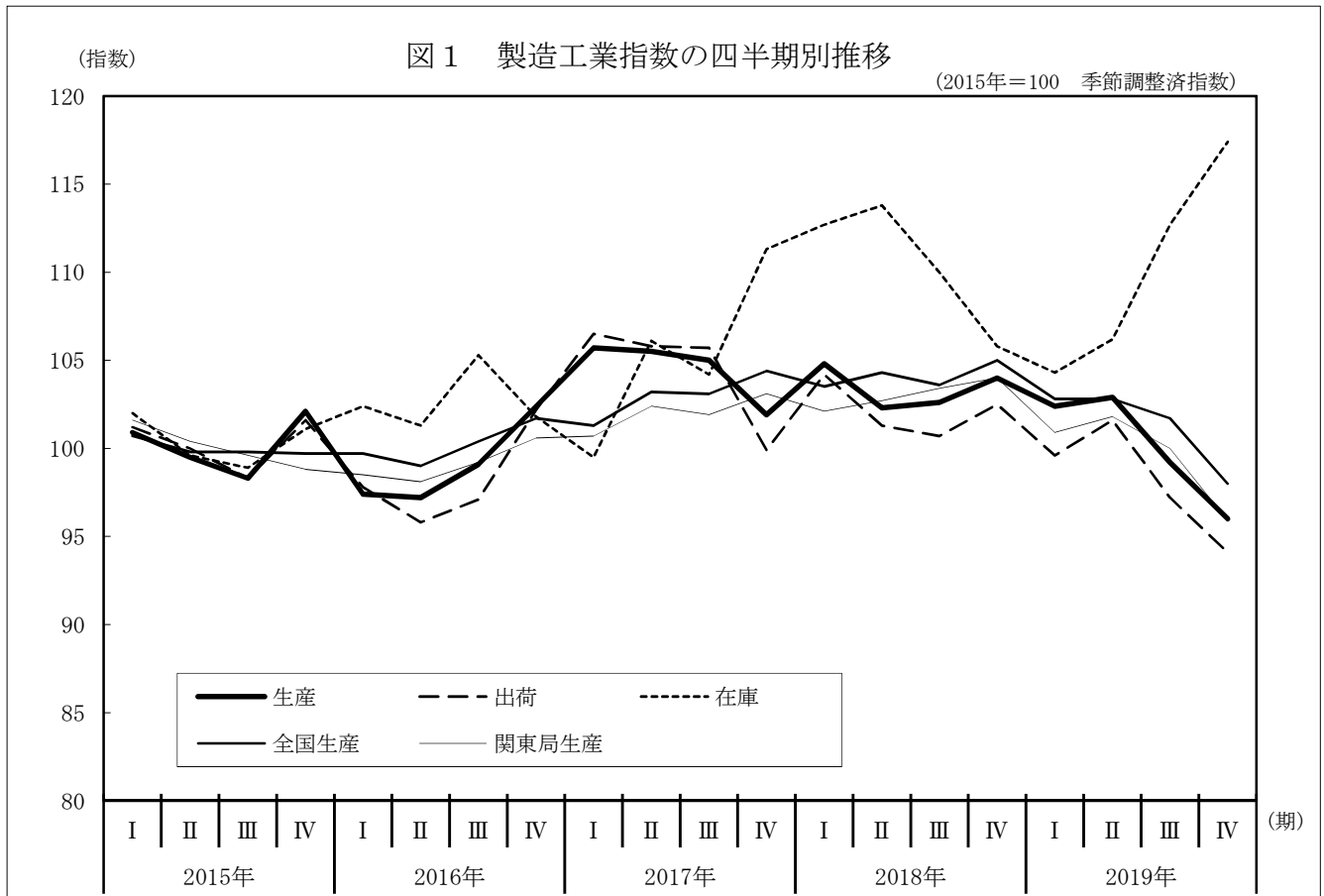


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(2015年=100)

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2019年			
							I	II	III	IV
神奈川県	指数	100.0	99.1	104.6	103.4	99.7	102.4	102.9	99.2	96.0
	生産	△ 2.2	△ 0.9	5.5	△ 1.1	△ 3.6	△ 1.5	0.5	△ 3.6	△ 3.2
	対前年(期)末増減率%	-	-	-	-	-	△ 2.5	△ 0.3	△ 2.9	△ 8.5
	出荷	△ 2.1	△ 1.5	6.2	△ 2.4	△ 4.3	△ 2.8	2.0	△ 4.3	△ 3.2
	対前年(期)末増減率%	-	-	-	-	-	△ 4.5	0.0	△ 2.9	△ 9.6
	在庫	△ 0.5	0.9	9.4	△ 5.7	12.0	△ 1.4	1.8	6.1	4.2
	対前年(期)末増減率%	-	-	-	-	-	△ 8.0	△ 7.1	3.1	12.0
	全国	100.0	100.0	103.1	104.2	101.1	102.8	102.8	101.7	98.0
	生産	△ 1.1	0.0	3.1	1.1	△ 3.0	△ 2.1	0.0	△ 1.1	△ 3.6
	対前年(期)末増減率%	-	-	-	-	-	△ 1.7	△ 2.1	△ 1.1	△ 6.9
	関東経済産業局管内	100.0	99.1	102.0	103.1	99.3	100.9	101.8	100.0	95.9
	生産	△ 2.2	△ 0.9	2.9	1.1	△ 3.7	△ 3.0	0.9	△ 1.8	△ 4.1
	対前年(期)末増減率%	-	-	-	-	-	△ 2.4	△ 1.7	△ 2.5	△ 7.6

\* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

\* 関東経済産業局管内：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の地域

#### (4) 業種別の動向

##### <生産>

業種別にみると、小型乗用車やエンジン（自動車用）などが減少した輸送機械工業（前年比8.4%低下）や、軸受などが減少した汎用機械工業（同12.3%低下）など15業種が低下しました。

また、焼酎などが増加した食料品・飲料工業（前年比1.6%上昇）など3業種が上昇しました。

##### <出荷>

業種別にみると、小型乗用車やエンジン（自動車用）などが減少した輸送機械工業（前年比10.4%低下）や、リチウムイオン蓄電池などが減少した電気機械工業（同13.9%低下）など14業種が低下しました。

また、エチレンなどが増加した化学工業（前年比1.4%上昇）など6業種が上昇しました。

##### <在庫>

業種別にみると、リチウムイオン蓄電池や自動車用照明器具が増加した電気機械工業（前年末比190.7%上昇）や普通トラックなどが増加した輸送機械工業（同23.4%上昇）など10業種が上昇しました。

また、建設用クレーンなどが減少した生産用機械工業（前年末比40.7%低下）など8業種が低下しました。

（P3図2、P4表2、P5表3 参照）

図2 生産指数増減率に対する業種別寄与度の推移

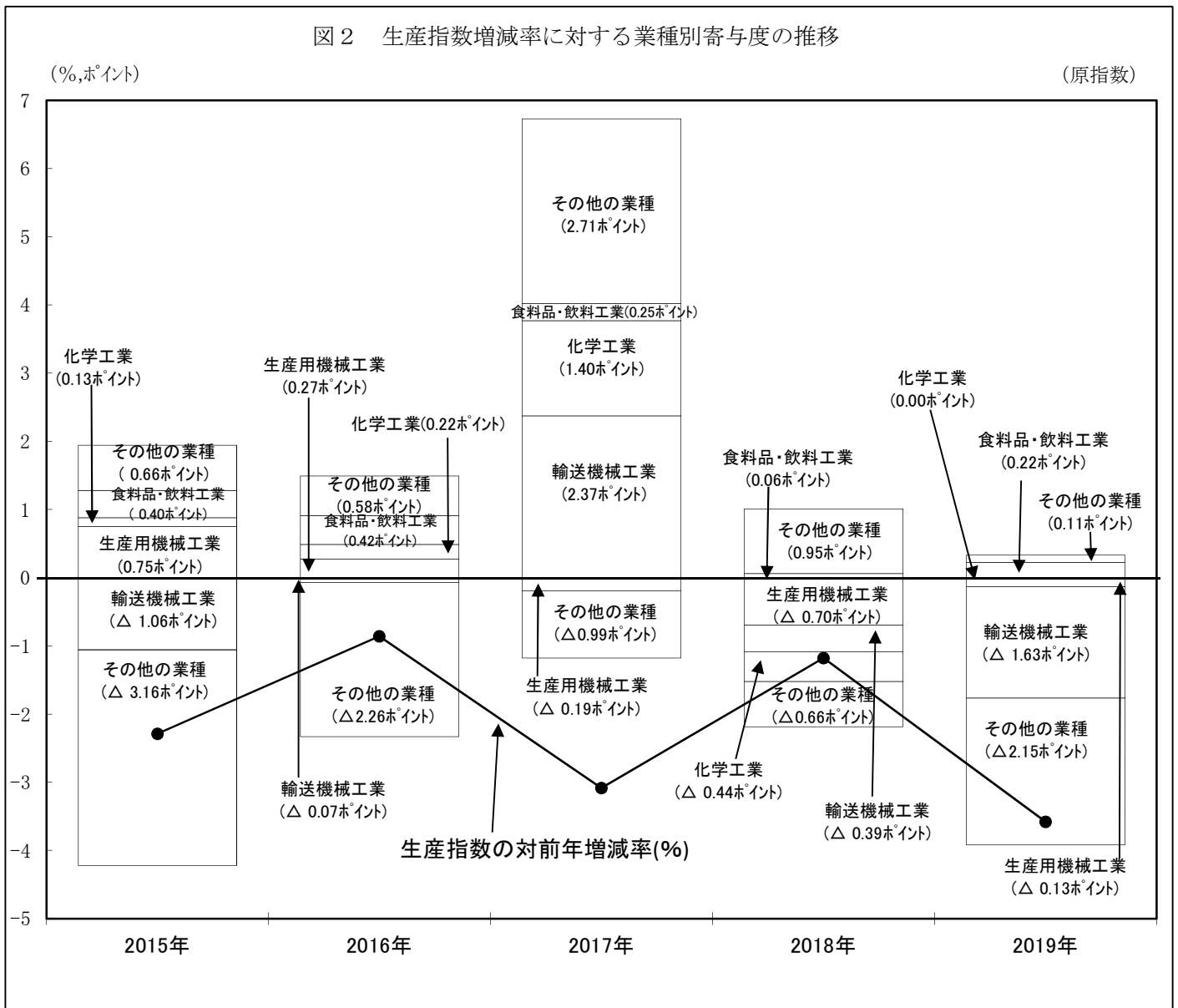


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 99.7 対前年増減率  $\Delta 3.6\%$  上昇3業種、低下15業種、横ばい2業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	食料品・飲料工業	1.6	0.22	増	焼酎、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、あめ菓子など
				減	チョコレート、清涼飲料(炭酸飲料除く)、果実酒など
横ばい	化学工業	0.0	0.00	増	医薬品、エチレン、合成洗剤など
				減	化粧品、界面活性剤、写真フィルムなど
低	輸送機械工業	$\Delta 8.4$	$\Delta 1.63$	増	鋼船、船用ディーゼル機関、機体部品・付属装置など
				減	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通乗用車など
	汎用機械工業	$\Delta 12.3$	$\Delta 0.83$	増	圧縮機、遠心式・吸収式冷凍機、エレベータなど
				減	軸受、真空ポンプ、一般用蒸気タービンなど
	電気機械工業	$\Delta 6.6$	$\Delta 0.36$	増	交流電動機、開閉制御装置、電気測定器など
				減	その他の電子応用装置、自動車用照明器具、交流発電機など
下	プラスチック製品工業	$\Delta 7.0$	$\Delta 0.23$	増	プラスチック製パイプ、発泡プラスチック製品、ディスクレコード
				減	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製板、プラスチック製容器など
	生産用機械工業	$\Delta 1.6$	$\Delta 0.13$	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、プラスチック用金型、半導体製造装置など
				減	ダイカストマシン、機械プレス、マシニングセンタなど

(2) 出荷 年指数 97.7 対前年増減率  $\Delta 4.3\%$  上昇6業種、低下14業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	化学工業	1.4	0.17	増	エチレン、プロピレン、医薬品など
				減	界面活性剤、化粧品、酸化エチレンなど
昇	食料品・飲料工業	0.7	0.08	増	焼酎、あめ菓子、乳飲料など
				減	チョコレート、清涼飲料(炭酸飲料除く)、発酵乳など
低	輸送機械工業	$\Delta 10.4$	$\Delta 2.77$	増	船用ディーゼル機関、鋼船、機体部品・付属装置など
				減	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通乗用車など
	電気機械工業	$\Delta 13.9$	$\Delta 0.62$	増	交流電動機、開閉制御装置、電気測定器など
				減	リチウムイオン蓄電池、その他の電子応用装置、自動車用照明器具など
	汎用機械工業	$\Delta 11.3$	$\Delta 0.55$	増	圧縮機、遠心式・吸収式冷凍機、エレベータなど
				減	真空ポンプ、軸受、一般用蒸気タービンなど
下	鉄鋼業	$\Delta 6.9$	$\Delta 0.26$	増	鋼半製品、特殊鋼鋼管
				減	普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材など
	生産用機械工業	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.06$	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、プレス用金型、プラスチック用金型など
				減	マシニングセンタ、食料品加工機械、機械プレスなど

(3) 在庫 年指数 114.1 対前年末増減率  $12.0\%$  上昇10業種、低下8業種

業 種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	電気機械工業	190.7	13.86	増	リチウムイオン蓄電池、自動車用照明器具
				減	蛍光灯、換気扇
昇	輸送機械工業	23.4	1.51	増	普通トラック、大型バス、普通乗用車など
				減	小型トラック、けん引車
	汎用機械工業	5.3	0.54	増	汎用内燃機関、ポンプ、圧縮機
				減	冷凍・空調用冷却塔、軸受、真空ポンプ
低	生産用機械工業	$\Delta 40.7$	$\Delta 1.77$	増	数値制御放電加工機、ダイヤモンド工具
				減	建設用クレーン、マシニングセンタ、収穫調整用機器など
	食料品・飲料工業	$\Delta 13.7$	$\Delta 0.97$	増	焼酎、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、ビール・発泡酒など
				減	果実酒、チョコレート、ビスケット類など
下	鉄鋼業	$\Delta 11.6$	$\Delta 0.89$	増	めっき鋼材、鋳鋼・鍛鋼品、普通鋼小形棒鋼など
				減	鋼半製品、普通鋼鋼管、特殊鋼熱間圧延鋼材など
	化学工業	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.27$	増	ポリプロピレングリコール、ポリエチレン、身体用洗浄剤など
				減	柔軟仕上げ剤、写真フィルム、合成ゴムなど

表 3

## 業種別年指数・対前年増減率

(2015年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		2016年	2017年	2018年	2019年	2016年	2017年	2018年	2019年	2016年	2017年	2018年	2019年	2016年	2017年	2018年	2019年
製 造 工 業	指 数	99.1	104.6	103.4	99.7	98.5	104.6	102.1	97.7	98.8	108.1	101.9	114.1	106.3	104.2	108.7	114.7
	対前年増減率%	△ 0.9	5.5	△ 1.1	△ 3.6	△ 1.5	6.2	△ 2.4	△ 4.3	0.9	9.4	△ 5.7	12.0	6.3	△ 2.0	4.3	5.5
鉄 鋼 業	指 数	98.8	97.5	95.5	83.7	98.1	99.2	99.7	92.8	94.3	97.2	102.2	90.3	97.0	102.0	102.9	105.5
	対前年増減率%	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.1	△ 12.4	△ 1.9	1.1	0.5	△ 6.9	1.3	3.1	5.1	△ 11.6	△ 3.0	5.2	0.9	2.5
非鉄金属 工 業	指 数	104.8	110.7	113.3	108.2	103.8	107.4	108.5	104.0	67.8	84.9	111.8	101.8	81.8	71.5	95.3	101.9
	対前年増減率%	4.8	5.6	2.3	△ 4.5	3.8	3.5	1.0	△ 4.1	△ 26.0	25.2	31.7	△ 8.9	△ 18.2	△ 12.6	33.3	6.9
金属製品 工 業	指 数	94.2	89.1	87.5	85.4	96.2	87.6	86.5	83.4	81.9	99.3	50.4	50.0	104.4	127.5	68.0	60.2
	対前年増減率%	△ 5.8	△ 5.4	△ 1.8	△ 2.4	△ 3.8	△ 8.9	△ 1.3	△ 3.6	△ 13.2	21.2	△ 49.2	△ 0.8	4.4	22.1	△ 46.7	△ 11.5
汎用機械 工 業	指 数	95.0	104.2	113.2	99.3	92.9	100.5	108.4	96.1	101.3	109.9	131.4	138.3	96.8	97.9	103.3	135.3
	対前年増減率%	△ 5.0	9.7	8.6	△ 12.3	△ 7.1	8.2	7.9	△ 11.3	14.2	8.5	19.6	5.3	△ 3.2	1.1	5.5	31.0
生産用機械 工 業	指 数	102.9	100.8	92.9	91.4	102.4	103.8	89.8	88.9	123.1	105.3	106.8	63.3	88.5	132.6	159.6	120.2
	対前年増減率%	2.9	△ 2.0	△ 7.8	△ 1.6	2.4	1.4	△ 13.5	△ 1.0	50.3	△ 14.5	1.4	△ 40.7	△ 11.5	49.8	20.4	△ 24.7
業務用機械 工 業	指 数	92.7	99.9	107.5	104.8	93.9	103.2	110.9	111.9	106.3	115.0	101.5	126.0	113.7	125.9	126.4	118.4
	対前年増減率%	△ 7.3	7.8	7.6	△ 2.5	△ 6.1	9.9	7.5	0.9	9.6	8.2	△ 11.7	24.1	13.7	10.7	0.4	△ 6.3
電子部品・ デバイス工業	指 数	93.1	104.9	103.4	99.4	90.4	104.3	103.4	99.9	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前年増減率%	△ 6.9	12.7	△ 1.4	△ 3.9	△ 9.6	15.4	△ 0.9	△ 3.4	X	X	X	X	X	X	X	X
電気機械 工 業	指 数	102.3	114.6	117.8	110.0	109.3	119.2	128.5	110.6	227.7	258.8	120.9	351.4	90.5	121.5	109.4	120.0
	対前年増減率%	2.3	12.0	2.8	△ 6.6	9.3	9.1	7.8	△ 13.9	33.6	13.7	△ 53.3	190.7	△ 9.5	34.3	△ 10.0	9.7
情報通信 機械工業	指 数	90.0	82.1	81.5	82.9	89.0	79.6	77.1	77.4	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前年増減率%	△ 10.0	△ 8.8	△ 0.7	1.7	△ 11.0	△ 10.6	△ 3.1	0.4	X	X	X	X	X	X	X	X
輸送機械 工 業	指 数	99.6	112.5	110.3	101.0	100.1	114.6	113.7	101.9	55.4	90.6	65.3	80.6	99.4	90.0	98.1	91.3
	対前年増減率%	△ 0.4	13.0	△ 2.0	△ 8.4	0.1	14.5	△ 0.8	△ 10.4	△ 13.0	63.5	△ 27.9	23.4	△ 0.6	△ 9.5	9.0	△ 6.9
窯業・土石 製品工業	指 数	104.9	113.9	118.0	113.1	103.9	109.4	114.4	109.1	109.3	123.1	119.7	119.9	108.1	116.3	120.8	140.4
	対前年増減率%	4.9	8.6	3.6	△ 4.2	3.9	5.3	4.6	△ 4.6	7.7	12.6	△ 2.8	0.2	8.1	7.6	3.9	16.2
化学工業	指 数	101.4	110.2	107.3	107.3	101.2	108.6	104.3	105.8	97.9	108.0	126.7	125.4	128.7	108.5	129.5	144.9
	対前年増減率%	1.4	8.7	△ 2.6	0.0	1.2	7.3	△ 4.0	1.4	△ 2.4	10.3	17.3	△ 1.0	28.7	△ 15.7	19.4	11.9
石油・石炭 製品工業	指 数	87.7	96.8	86.4	86.4	91.0	96.2	86.6	87.6	83.5	72.9	73.1	69.2	107.5	93.3	91.0	92.2
	対前年増減率%	△ 12.3	10.4	△ 10.7	0.0	△ 9.0	5.7	△ 10.0	1.2	△ 20.5	△ 12.7	0.3	△ 5.3	7.5	△ 13.2	△ 2.5	1.3
プラスチック 製品工業	指 数	99.9	113.6	113.0	105.1	99.1	113.3	112.8	105.8	96.1	105.7	123.2	128.8	105.9	90.0	106.5	117.4
	対前年増減率%	△ 0.1	13.7	△ 0.5	△ 7.0	△ 0.9	14.3	△ 0.4	△ 6.2	△ 5.5	10.0	16.6	4.5	5.9	△ 15.0	18.3	10.2
紙・紙加工品 工 業	指 数	101.5	102.2	105.2	106.7	98.2	103.5	104.4	100.0	138.2	124.1	93.6	118.9	141.9	144.4	118.8	114.7
	対前年増減率%	1.5	0.7	2.9	1.4	△ 1.8	5.4	0.9	△ 4.2	38.1	△ 10.2	△ 24.6	27.0	41.9	1.8	△ 17.7	△ 3.5
繊維工業	指 数	98.4	94.0	98.3	95.1	101.1	98.2	98.0	94.7	119.6	90.9	96.3	114.1	122.5	110.4	110.2	133.4
	対前年増減率%	△ 1.6	△ 4.5	4.6	△ 3.3	1.1	△ 2.9	△ 0.2	△ 3.4	3.6	△ 24.0	5.9	18.5	22.5	△ 9.9	△ 0.2	21.1
食料品・ 飲料工業	指 数	103.1	104.9	105.4	107.1	102.7	104.2	104.9	105.6	95.2	101.7	103.3	89.1	100.3	100.3	103.1	104.0
	対前年増減率%	3.1	1.7	0.5	1.6	2.7	1.5	0.7	0.7	8.1	6.8	1.6	△ 13.7	0.3	0.0	2.8	0.9
ゴム製品 工 業	指 数	78.8	76.3	75.3	69.9	81.7	77.4	76.6	71.7	64.8	64.7	81.4	99.2	109.6	102.9	113.5	158.1
	対前年増減率%	△ 21.2	△ 3.2	△ 1.3	△ 7.2	△ 18.3	△ 5.3	△ 1.0	△ 6.4	△ 19.5	△ 0.2	25.8	21.9	9.6	△ 6.1	10.3	39.3
家具工業	指 数	135.4	124.2	112.8	111.4	141.0	129.2	117.2	120.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	35.4	△ 8.3	△ 9.2	△ 1.2	41.0	△ 8.4	△ 9.3	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	100.9	97.8	94.5	90.3	100.3	97.1	93.6	89.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	0.9	△ 3.1	△ 3.4	△ 4.4	0.3	△ 3.2	△ 3.6	△ 4.6	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機 械 工 業	指 数	98.0	104.5	103.6	97.3	98.7	107.6	106.4	97.5	114.8	132.4	100.8	148.1	96.7	107.6	112.5	115.5
	対前年増減率%	△ 2.0	6.6	△ 0.9	△ 6.1	△ 1.3	9.0	△ 1.1	△ 8.4	17.6	15.3	△ 23.9	46.9	△ 3.3	11.3	4.6	2.7

\*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

\*機械工業は参考系列(P82 業種分類参照)

表 4

## 2019年業種別四半期指数・対前期増減率

(2015年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	102.4	102.9	99.2	96.0	99.6	101.6	97.2	94.1	104.3	106.2	112.7	117.4	113.5	113.7	112.6	119.4
	対前期増減率%	△ 1.5	0.5	△ 3.6	△ 3.2	△ 2.8	2.0	△ 4.3	△ 3.2	△ 1.4	1.8	6.1	4.2	4.0	0.2	△ 1.0	6.0
鉄 鋼 業	指 数	85.2	88.7	84.9	76.2	96.7	95.7	95.3	84.5	95.2	101.3	98.2	92.6	98.2	106.7	105.3	111.9
	対前期増減率%	△ 9.7	4.1	△ 4.3	△ 10.2	△ 4.3	△ 1.0	△ 0.4	△ 11.3	△ 8.3	6.4	△ 3.1	△ 5.7	△ 4.9	8.7	△ 1.3	6.3
非鉄金属 工 業	指 数	112.3	107.7	108.3	106.3	107.7	103.1	103.5	103.9	110.4	96.7	97.4	97.0	110.7	104.0	96.3	97.2
	対前期増減率%	△ 5.5	△ 4.1	0.6	△ 1.8	△ 5.4	△ 4.3	0.4	0.4	0.7	△ 12.4	0.7	△ 0.4	8.2	△ 6.1	△ 7.4	0.9
金属製品 工 業	指 数	85.2	85.4	84.7	87.1	81.4	84.3	85.1	82.9	53.5	52.3	48.4	51.2	67.0	59.7	53.9	61.1
	対前期増減率%	△ 4.4	0.2	△ 0.8	2.8	△ 3.4	3.6	0.9	△ 2.6	2.1	△ 2.2	△ 7.5	5.8	7.5	△ 10.9	△ 9.7	13.4
汎用機械 工 業	指 数	109.1	102.8	95.5	93.6	102.0	97.6	94.0	93.7	136.0	147.3	146.3	141.0	123.1	136.4	141.0	139.6
	対前期増減率%	△ 7.4	△ 5.8	△ 7.1	△ 2.0	△ 10.9	△ 4.3	△ 3.7	△ 0.3	2.6	8.3	△ 0.7	△ 3.6	16.5	10.8	3.4	△ 1.0
生産用機械 工 業	指 数	87.4	97.4	86.1	97.1	80.8	96.0	80.6	100.7	89.5	62.1	66.3	60.8	126.5	166.3	93.4	87.6
	対前期増減率%	△ 10.6	11.4	△ 11.6	12.8	△ 12.4	18.8	△ 16.0	24.9	△ 15.3	△ 30.6	6.8	△ 8.3	△ 28.5	31.5	△ 43.8	△ 6.2
業務用機械 工 業	指 数	95.0	128.2	113.1	94.9	102.7	120.2	118.3	110.9	99.8	110.4	134.6	128.7	115.0	120.8	110.4	124.1
	対前期増減率%	△ 3.6	34.9	△ 11.8	△ 16.1	△ 5.6	17.0	△ 1.6	△ 6.3	△ 2.6	10.6	21.9	△ 4.4	7.0	5.0	△ 8.6	12.4
電子部品・ デバイス工業	指 数	100.5	100.8	98.0	99.3	101.6	98.9	97.7	102.3	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前期増減率%	△ 4.0	0.3	△ 2.8	1.3	△ 2.8	△ 2.7	△ 1.2	4.7	X	X	X	X	X	X	X	X
電気機械 工 業	指 数	110.5	109.5	116.7	100.0	112.1	120.8	112.2	99.8	140.8	162.3	284.8	343.3	92.2	79.2	141.9	163.5
	対前期増減率%	2.1	△ 0.9	6.6	△ 14.3	△ 1.5	7.8	△ 7.1	△ 11.1	20.4	15.3	75.5	20.5	△ 3.4	△ 14.1	79.2	15.2
情報通信 機械工業	指 数	85.7	93.4	78.1	80.2	79.9	91.3	73.4	74.0	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前期増減率%	5.5	9.0	△ 16.4	2.7	2.6	14.3	△ 19.6	0.8	X	X	X	X	X	X	X	X
輸送機械 工 業	指 数	106.5	106.5	100.6	90.9	107.8	108.0	102.6	90.4	46.8	70.1	71.3	91.7	77.9	89.6	94.4	98.9
	対前期増減率%	△ 3.2	0.0	△ 5.5	△ 9.6	△ 4.1	0.2	△ 5.0	△ 11.9	△ 42.9	49.8	1.7	28.6	△ 15.5	15.0	5.4	4.8
窯業・土石 製品工業	指 数	118.1	116.8	112.7	105.6	114.3	113.4	109.1	101.8	127.9	130.5	125.2	124.6	122.5	139.7	154.7	147.1
	対前期増減率%	0.0	△ 1.1	△ 3.5	△ 6.3	△ 1.6	△ 0.8	△ 3.8	△ 6.7	4.4	2.0	△ 4.1	△ 0.5	9.0	14.0	10.7	△ 4.9
化学工業	指 数	107.5	109.7	111.2	102.8	106.2	108.1	110.6	101.4	136.1	134.4	135.7	131.9	150.0	147.3	136.5	147.5
	対前期増減率%	△ 0.2	2.0	1.4	△ 7.6	1.1	1.8	2.3	△ 8.3	2.7	△ 1.2	1.0	△ 2.8	11.9	△ 1.8	△ 7.3	8.1
石油・石炭 製品工業	指 数	87.2	92.7	85.2	80.8	86.9	93.7	87.7	83.3	74.7	71.4	67.5	73.9	89.9	85.0	90.2	102.4
	対前期増減率%	△ 1.4	6.3	△ 8.1	△ 5.2	△ 3.7	7.8	△ 6.4	△ 5.0	△ 6.2	△ 4.4	△ 5.5	9.5	0.7	△ 5.5	6.1	13.5
プラスチック 製品工業	指 数	109.0	107.9	105.9	99.2	110.4	109.0	106.5	99.3	124.0	123.3	124.5	129.5	113.5	114.0	115.5	127.1
	対前期増減率%	△ 5.9	△ 1.0	△ 1.9	△ 6.3	△ 4.8	△ 1.3	△ 2.3	△ 6.8	△ 1.8	△ 0.6	1.0	4.0	8.3	0.4	1.3	10.0
紙・紙加工品 工 業	指 数	106.9	106.7	108.7	106.0	101.7	104.5	104.7	92.6	115.3	110.1	114.6	136.1	114.7	108.7	108.5	132.3
	対前期増減率%	0.4	△ 0.2	1.9	△ 2.5	△ 0.7	2.8	0.2	△ 11.6	8.9	△ 4.5	4.1	18.8	5.2	△ 5.2	△ 0.2	21.9
繊維工業	指 数	100.5	89.4	96.2	95.3	99.4	88.1	93.6	94.6	103.6	118.9	108.8	114.8	114.6	150.2	128.5	141.2
	対前期増減率%	4.5	△ 11.0	7.6	△ 0.9	2.2	△ 11.4	6.2	1.1	8.5	14.8	△ 8.5	5.5	15.8	31.1	△ 14.4	9.9
食料品・ 飲料工業	指 数	115.9	105.0	105.3	104.4	110.6	104.1	105.0	104.6	98.8	98.8	95.7	91.4	108.5	101.4	98.2	106.6
	対前期増減率%	10.5	△ 9.4	0.3	△ 0.9	5.4	△ 5.9	0.9	△ 0.4	△ 8.4	0.0	△ 3.1	△ 4.5	2.5	△ 6.5	△ 3.2	8.6
ゴム製品 工 業	指 数	71.0	71.0	68.8	68.7	70.8	72.1	72.3	71.7	91.8	102.3	100.9	109.1	149.7	155.8	160.1	168.3
	対前期増減率%	△ 6.5	0.0	△ 3.1	△ 0.1	△ 8.3	1.8	0.3	△ 0.8	2.9	11.4	△ 1.4	8.1	20.2	4.1	2.8	5.1
家具工業	指 数	110.5	116.2	104.1	113.1	117.5	124.3	113.5	124.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 6.8	5.2	△ 10.4	8.6	△ 5.1	5.8	△ 8.7	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	93.1	90.8	90.8	86.3	92.4	90.6	89.6	84.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	1.1	△ 2.5	0.0	△ 5.0	1.0	△ 1.9	△ 1.1	△ 5.5	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機 械 工 業	指 数	100.0	102.9	95.9	92.9	100.1	103.9	96.4	92.3	101.7	110.5	138.2	150.5	108.8	113.3	118.3	121.7
	対前期増減率%	△ 3.8	2.9	△ 6.8	△ 3.1	△ 5.3	3.8	△ 7.2	△ 4.3	△ 1.8	8.7	25.1	8.9	0.6	4.1	4.4	2.9

\*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

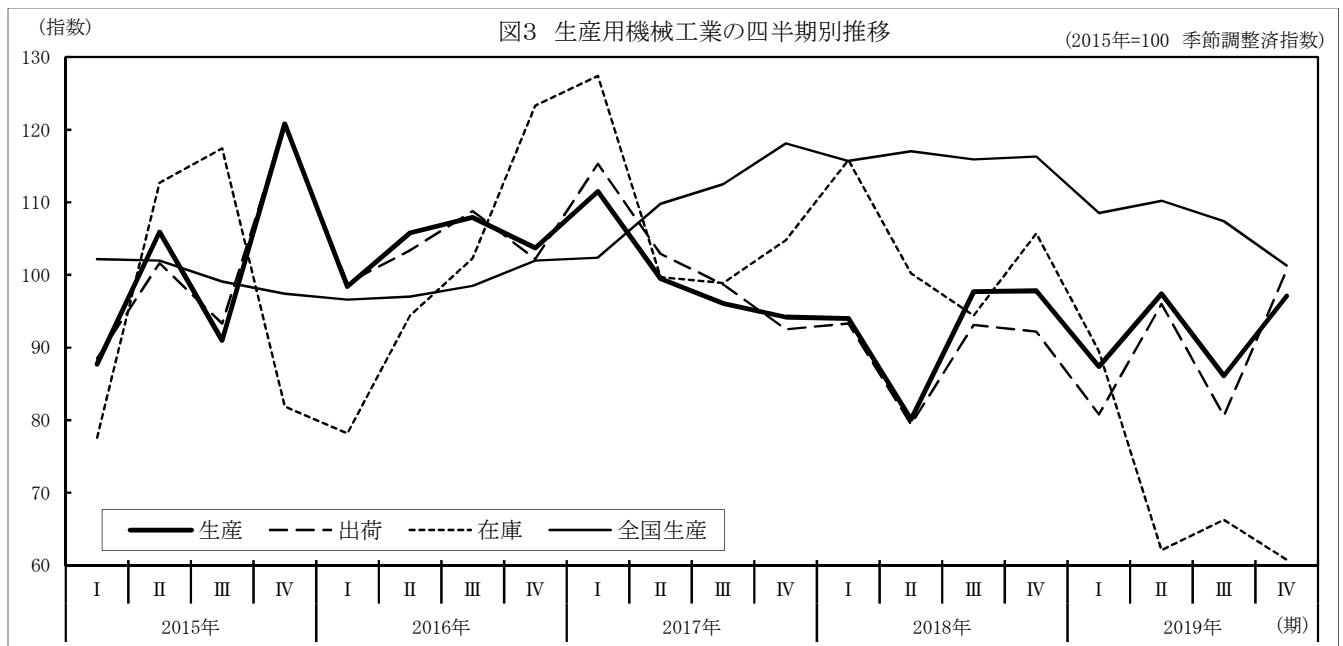
\*機械工業は参考系列(P82 業種分類参照)

## 2 各業種の動向

### (1) 主要業種の動向

#### <生産用機械工業>

—生産は3年連続の低下、出荷は2年連続の低下—



#### <生産>

生産指数(原指数)は、91.4で前年比1.6%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比10.6%低下、II期は同11.4%上昇、III期は同11.6%低下、IV期は同12.8%上昇しました。

品目別にみると、ダイカストマシンや機械プレスなどが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

また、全国の生産用機械工業の生産指数(原指数)は、106.3で前年比8.6%低下し、3年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

出荷指数(原指数)は、88.9で前年比1.0%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比12.4%低下、II期は同18.8%上昇、III期は同16.0%低下、IV期は同24.9%上昇しました。

品目別にみると、マシニングセンタや食料品加工機械などが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、63.3で前年末比40.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比15.3%低下、II期も同30.6%低下、III期は同6.8%上昇、IV期は同8.3%低下しました。

品目別にみると、建設用クレーンやマシニングセンタなどが減少し、数値制御放電加工機などが増加しました。

表5 生産用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

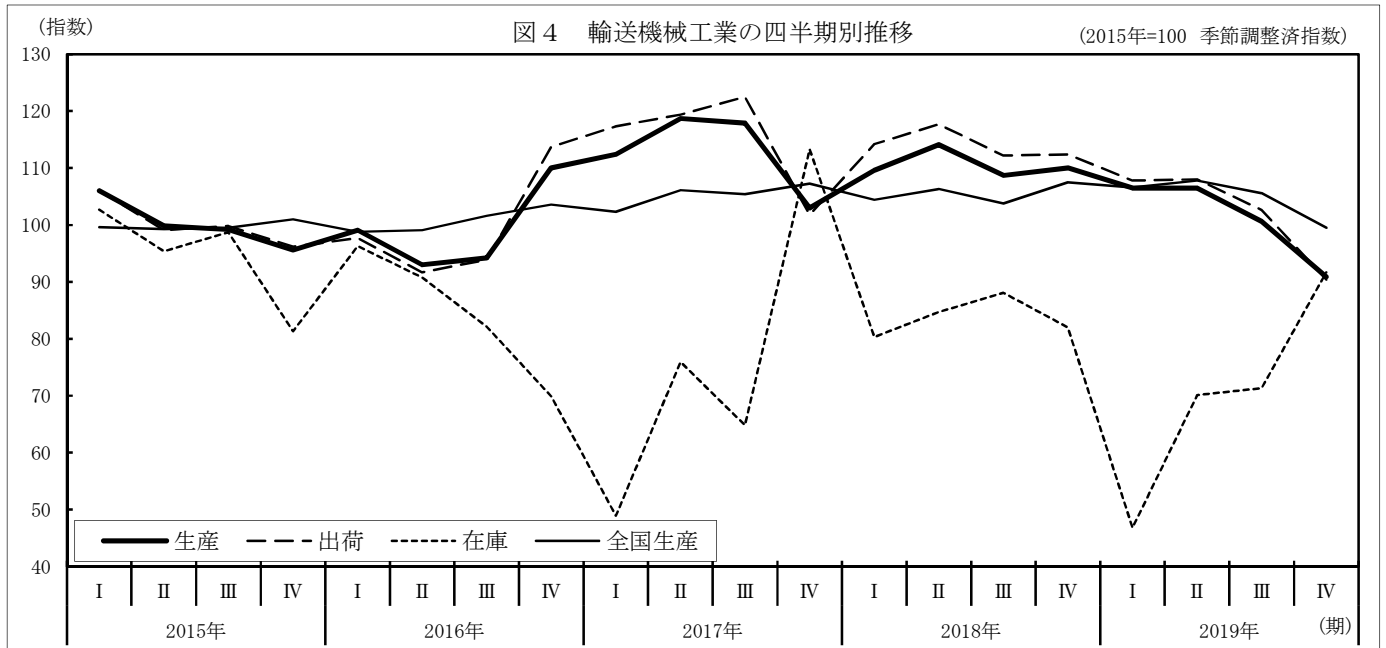
		2018年	2019年	2019年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
				I	II	III	IV	増	減
生産	指数	92.9	91.4	87.4	97.4	86.1	97.1	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、プラスチック用金型など
	対前年(期)増減率%	△ 7.8	△ 1.6	△ 10.6	11.4	△ 11.6	12.8	減	ダイカストマシン、機械プレス、マシニングセンタなど
出荷	指数	89.8	88.9	80.8	96.0	80.6	100.7	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、プレス用金型など
	対前年(期)増減率%	△ 13.5	△ 1.0	△ 12.4	18.8	△ 16.0	24.9	減	マシニングセンタ、食料品加工機械、機械プレスなど
在庫	指数	106.8	63.3	89.5	62.1	66.3	60.8	増	数値制御放電加工機、ダイヤモンド工具
	対前年(期)末増減率%	1.4	△ 40.7	△ 15.3	△ 30.6	6.8	△ 8.3	減	建設用クレーン、マシニングセンタ、収穫調整用機器など

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

＜輸送機械工業＞

－生産、出荷とも2年連続の低下－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、101.0で前年比8.4%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.2%低下、II期は同0.0%で横ばい、III期は同5.5%低下、IV期も同9.6%低下しました。

品目別にみると、小型乗用車やエンジン(自動車用)などが減少し、鋼船などが増加しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、104.8で前年比0.8%低下し、4年ぶりに低下しました。

＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、101.9で前年比10.4%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.1%低下、II期は同0.2%上昇、III期は同5.0%低下、IV期も同11.9%低下しました。

品目別にみると、小型乗用車やエンジン(自動車用)などが減少し、船用ディーゼル機関などが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、80.6で前年末比23.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比42.9%低下、II期は同49.8%上昇、III期も同1.7%上昇、IV期も同28.6%上昇しました。

品目別にみると、普通トラックや大型バスなどが増加し、小型トラックなどが減少しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		2018年		2019年			
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV
生産	指数	110.3	101.0	106.5	106.5	100.6	90.9
	対前年(期)増減率%	△ 2.0	△ 8.4	△ 3.2	0.0	△ 5.5	△ 9.6
出荷	指数	113.7	101.9	107.8	108.0	102.6	90.4
	対前年(期)増減率%	△ 0.8	△ 10.4	△ 4.1	0.2	△ 5.0	△ 11.9
在庫	指数	65.3	80.6	46.8	70.1	71.3	91.7
	対前年(期)末増減率%	△ 27.9	23.4	△ 42.9	49.8	1.7	28.6

上昇又は低下に寄与した主な品目		
生産	増	鋼船、船用ディーゼル機関など
	減	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通乗用車など
出荷	増	船用ディーゼル機関、鋼船など
	減	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通乗用車など
在庫	増	普通トラック、大型バス、普通乗用車など
	減	小型トラック、けん引車

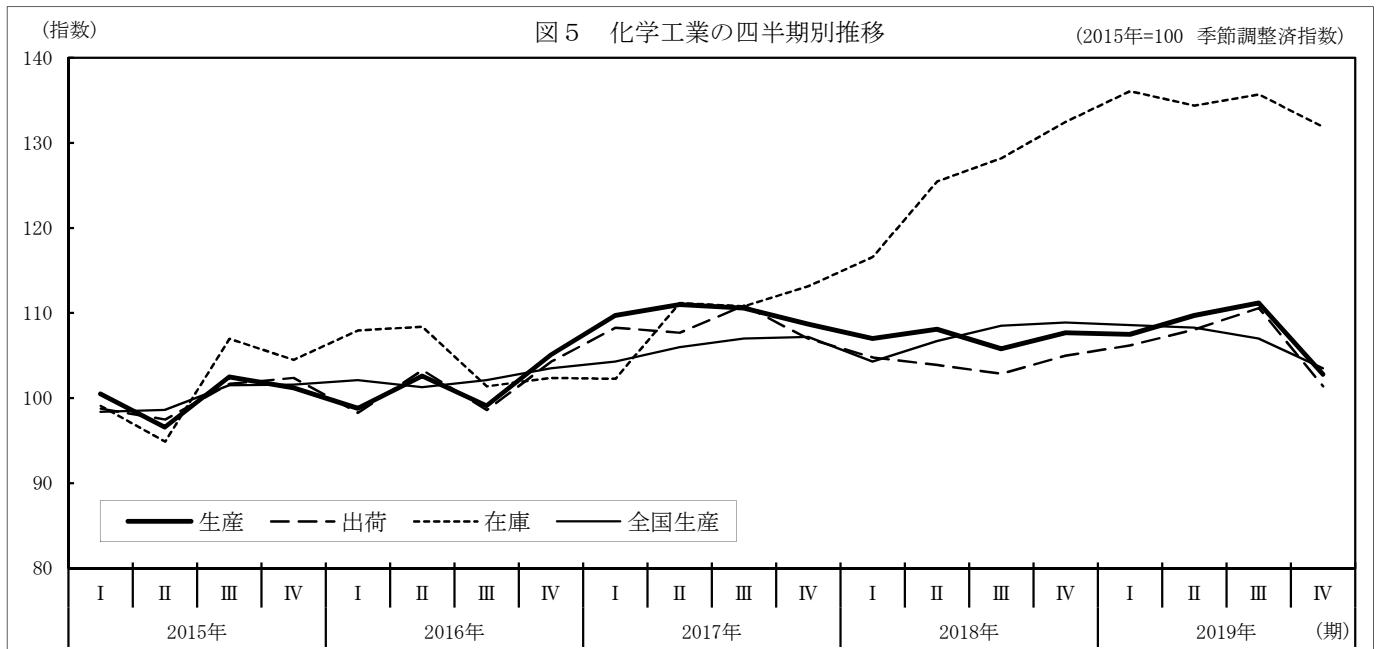
\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記



＜化学工業＞

－生産は横ばい、出荷は2年ぶりの上昇－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、107.3で前年比0.0%で横ばいでした。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.2%低下、II期は同2.0%上昇、III期も同1.4%上昇、IV期は同7.6%低下しました。

品目別にみると、医薬品やエチレンなどが増加し、化粧品などが減少しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、106.5で前年比0.7%低下し、5年ぶりに低下しました。

＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、105.8で前年比1.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.1%上昇、II期も同1.8%上昇、III期も同2.3%上昇、IV期は同8.3%低下しました。

品目別にみると、エチレンやプロピレンなどが増加し、界面活性剤などが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、125.4で前年末比1.0%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比2.7%上昇、II期は同1.2%低下、III期は同1.0%上昇、IV期は同2.8%低下しました。

品目別にみると、柔軟仕上げ剤や写真フィルムなどが減少し、ポリプロピレングリコールなどが増加しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

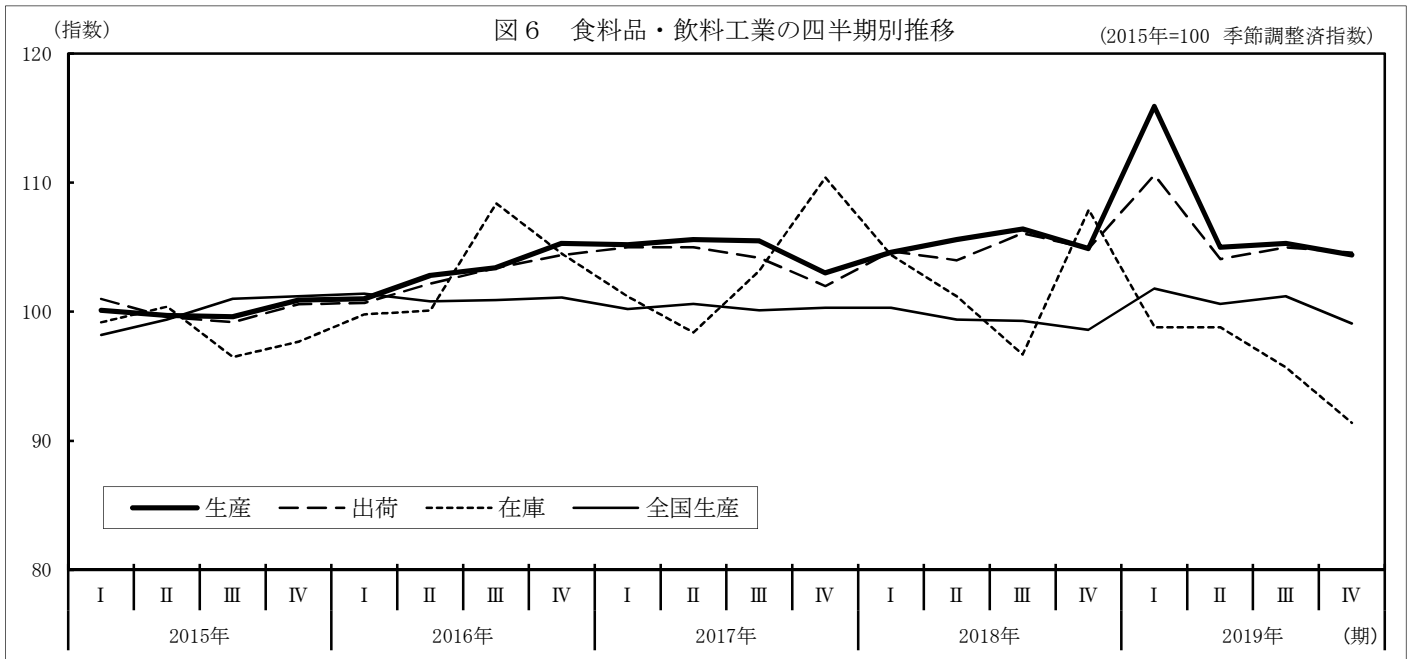
		2018年		2019年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	107.3	0.0	107.5	109.7	111.2	102.8	医薬品、エチレン、合成洗剤など	化粧品、界面活性剤など
	対前年(期)増減率%	△ 2.6	0.0	△ 0.2	2.0	1.4	△ 7.6		
出荷	指数	104.3	1.4	106.2	108.1	110.6	101.4	エチレン、プロピレン、医薬品など	界面活性剤、化粧品など
	対前年(期)増減率%	△ 4.0	1.4	1.1	1.8	2.3	△ 8.3		
在庫	指数	126.7	1.0	136.1	134.4	135.7	131.9	ポリプロピレングリコール、ポリエチレンなど	柔軟仕上げ剤、写真フィルム、合成ゴムなど
	対前年(期)末増減率%	17.3	△ 1.0	2.7	△ 1.2	1.0	△ 2.8		

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産、出荷とも5年連続の上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、107.1で前年比1.6%上昇し、5年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比10.5%上昇、II期は同9.4%低下、III期は同0.3%上昇、IV期は同0.9%低下しました。

品目別にみると、焼酎や蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが増加し、チョコレートなどが減少しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、100.6で前年比1.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、105.6で前年比0.7%上昇し、5年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.4%上昇、II期は同5.9%低下、III期は同0.9%上昇、IV期は同0.4%低下しました。

品目別にみると、焼酎やあめ菓子などが増加し、チョコレートなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、89.1で前年末比13.7%低下し、7年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比8.4%低下、II期は同0.0%で横ばい、III期は同3.1%低下、IV期も同4.5%低下しました。

品目別にみると、果実酒やチョコレートなどが減少し、焼酎などが増加しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		2018年		2019年				上昇又は低下に寄与した主な品目
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	105.4	107.1	115.9	105.0	105.3	104.4	増 焼酎、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、あめ菓子など 減 チョコレート、清涼飲料(炭酸飲料除く)など
	対前年(期)増減率%	0.5	1.6	10.5	△ 9.4	0.3	△ 0.9	
出荷	指数	104.9	105.6	110.6	104.1	105.0	104.6	増 焼酎、あめ菓子、乳飲料など 減 チョコレート、清涼飲料(炭酸飲料除く)など
	対前年(期)増減率%	0.7	0.7	5.4	△ 5.9	0.9	△ 0.4	
在庫	指数	103.3	89.1	98.8	98.8	95.7	91.4	増 焼酎、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)など 減 果実酒、チョコレート、ビスケット類など
	対前年(期)末増減率%	1.6	△ 13.7	△ 8.4	0.0	△ 3.1	△ 4.5	

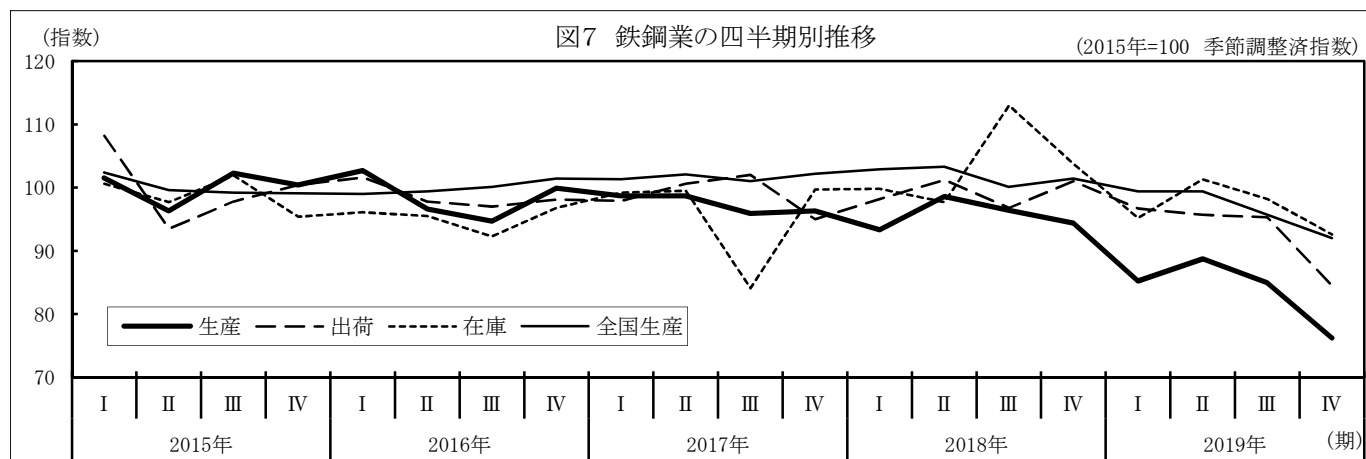
\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

## (2) その他の業種の動向

### <鉄鋼業>

－生産は5年連続の低下、出荷は3年ぶりの低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、83.7で前年比12.4%低下し、5年連続して低下しました。  
品目別にみると、鉄系鍛工品やめっき鋼材などが減少し、特殊鋼鋼管が増加しました。  
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、96.4で前年比5.5%低下し、3年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

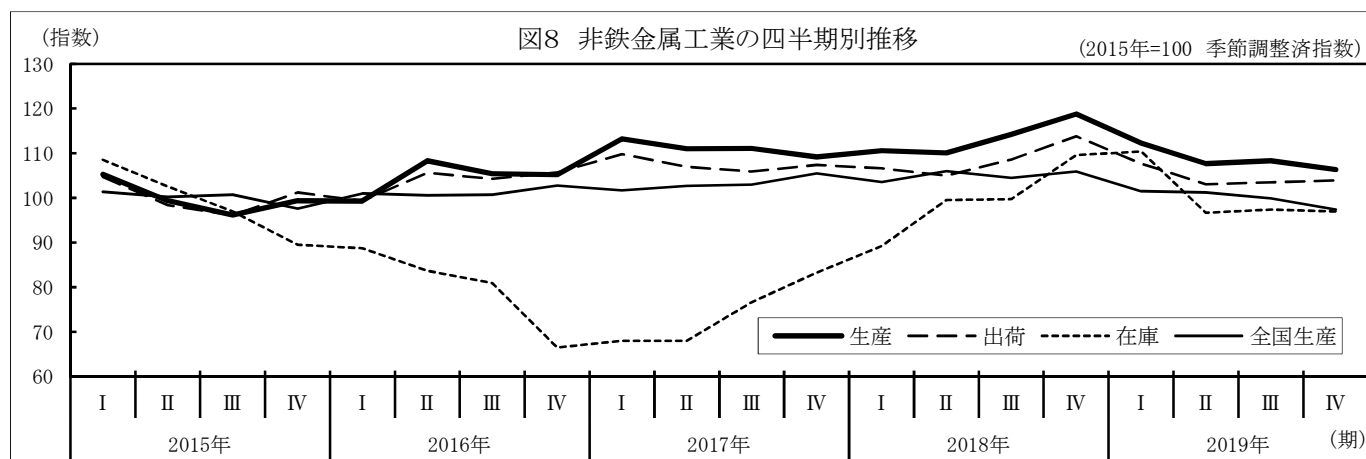
出荷指数(原指数)は、92.8で前年比6.9%低下し、3年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、普通鋼鋼帯や特殊鋼熱間圧延鋼材などが減少し、鋼半製品などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、90.3で前年末比11.6%低下し、4年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼管などが減少し、めっき鋼材などが増加しました。

### <非鉄金属工業>

－生産は6年ぶりの低下、出荷は4年ぶりの低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、108.2で前年比4.5%低下し、6年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、伸銅製品や光ファイバ心線などが減少し、光ファイバ通信用ケーブルなどが増加しました。  
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、99.9で前年比4.9%低下し、4年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

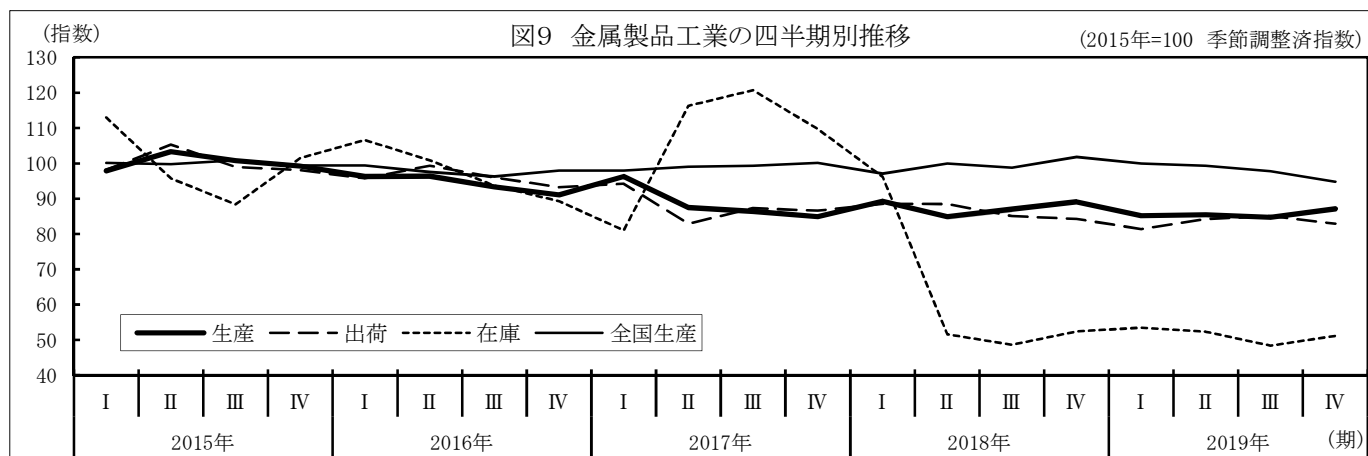
出荷指数(原指数)は、104.0で前年比4.1%低下し、4年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、伸銅製品や光ファイバ心線などが減少し、光ファイバ通信用ケーブルなどが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、101.8で前年末比8.9%低下し、3年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、伸銅製品や銅電線が減少し、光ファイバ通信用ケーブルなどが増加しました。

## <金属製品工業>

### －生産、出荷とも7年連続の低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、85.4で前年比2.4%低下し、7年連続して低下しました。

品目別にみると、ガス機器や缶類などが減少し、ばねなどが増加しました。

また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、97.7で前年比1.9%低下し、3年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

出荷指数(原指数)は、83.4で前年比3.6%低下し、7年連続して低下しました。

品目別にみると、ガス機器や缶類などが減少し、飲料用アルミ缶などが増加しました。

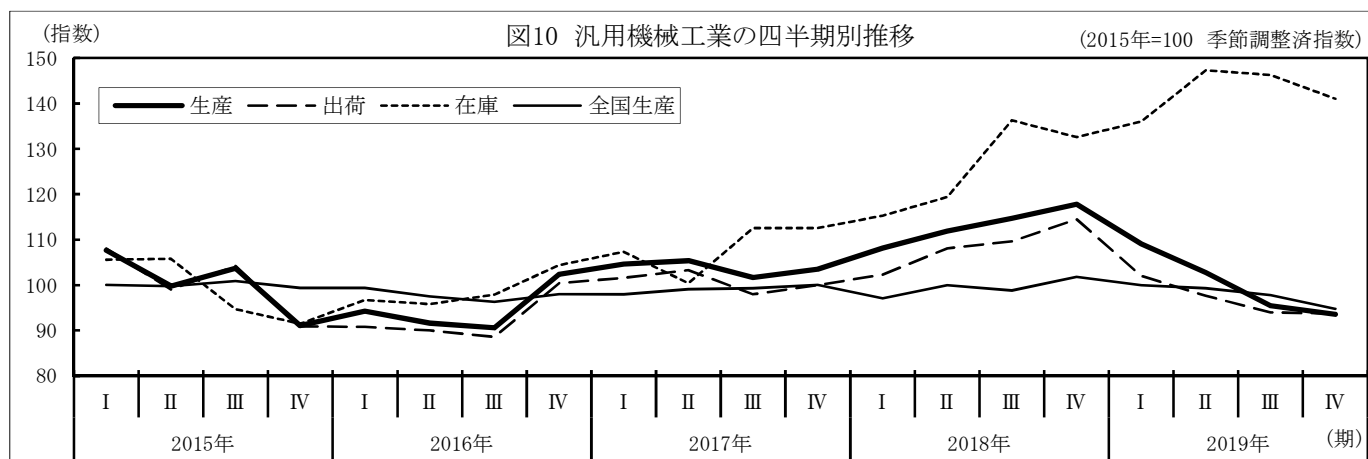
#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、50.0で前年末比0.8%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、ガス機器や飲料用アルミ缶などが減少し、ばねなどが増加しました。

## <汎用機械工業>

### －生産、出荷とも3年ぶりの低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、99.3で前年比12.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、軸受や真空ポンプなどが減少し、圧縮機などが増加しました。

また、全国の汎用機械工業の生産指数(同)は、102.2で前年比6.4%低下し、3年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

出荷指数(原指数)は、96.1で前年比11.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、真空ポンプや軸受などが減少し、圧縮機などが増加しました。

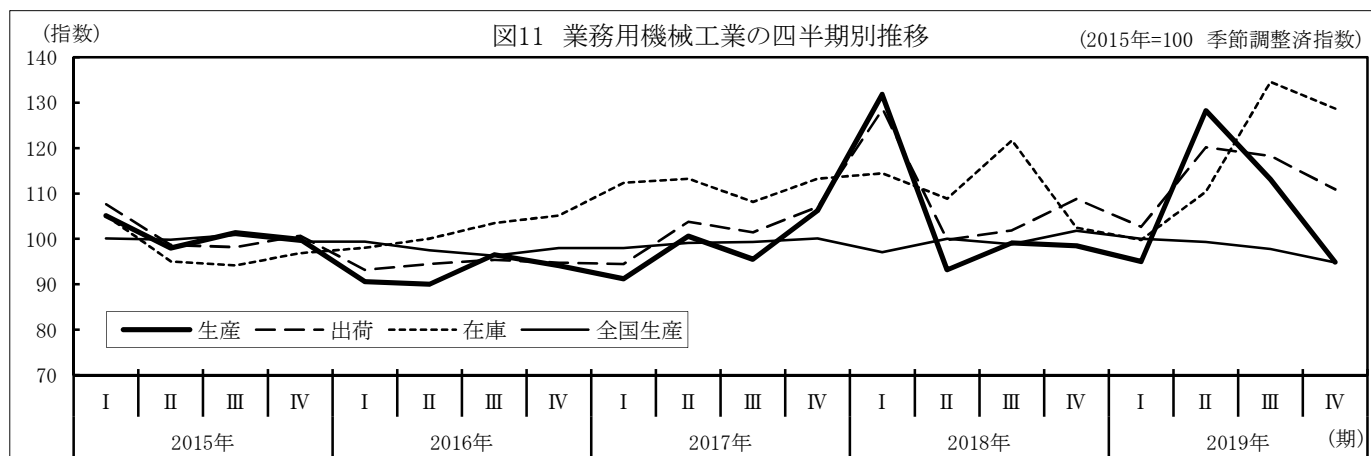
#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、138.3で前年末比5.3%上昇し、4年連続して上昇しました。

品目別にみると、汎用内燃機関やポンプなどが増加し、冷凍・空調用冷却塔などが減少しました。

## <業務用機械工業>

－生産は3年ぶりの低下、出荷は3年連続の上昇－



### <生産>

生産指数(原指数)は、104.8で前年比2.5%低下し、3年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、自動改札機・自動入場機や精密測定機などが減少し、自動販売機などが増加しました。  
また、全国の業務用機械工業の生産指数(同)は、103.0で前年比1.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

### <出荷>

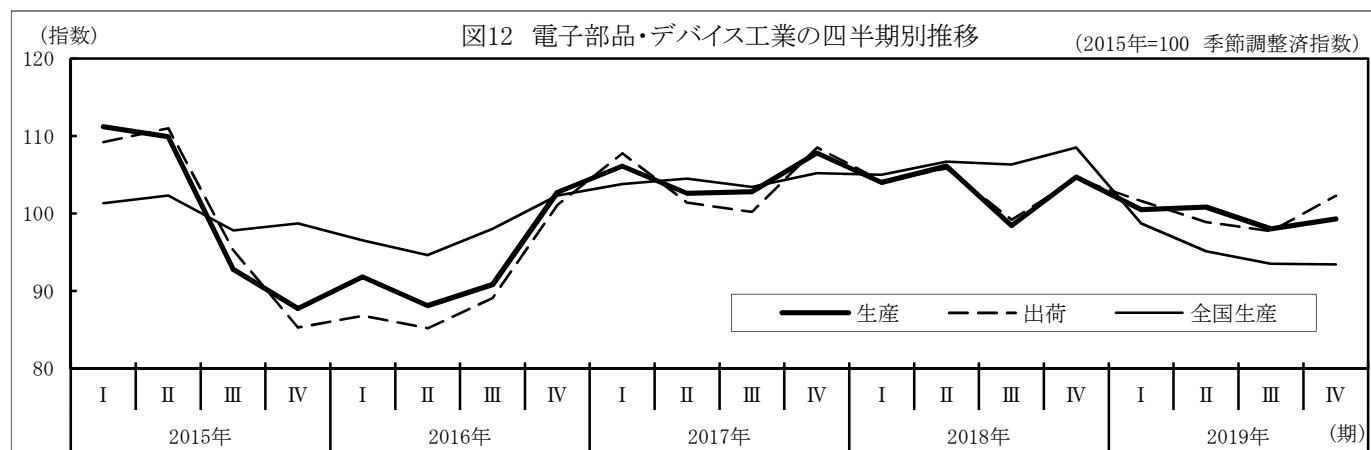
出荷指数(原指数)は、111.9で前年比0.9%上昇し、3年連続して上昇しました。  
品目別にみると、工業用計重機や自動販売機などが増加し、精密測定機などが減少しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、126.0で前年末比24.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。  
品目別にみると、積算体積計や精密測定機などが増加しました。

## <電子部品・デバイス工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



### <生産>

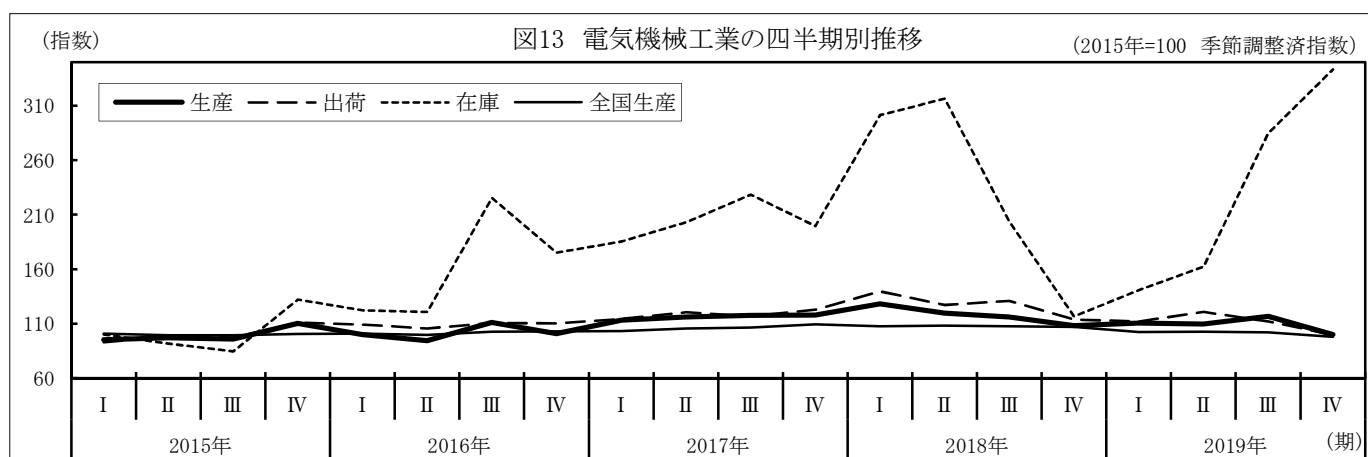
生産指数(原指数)は、99.4で前年比3.9%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、磁気テープやモス型半導体集積回路(CCD)などが減少し、電子管などが増加しました。  
また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、95.0で前年比11.0%低下し、3年ぶりに低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、99.9で前年比3.4%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)や磁気テープなどが減少し、電子回路実装基板などが増加しました。

## <電気機械工業>

－生産、出荷とも4年ぶりの低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、110.0で前年比6.6%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、その他の電子応用装置や自動車用照明器具などが減少し、交流電動機などが増加しました。

また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、101.0で前年比6.1%低下し、4年ぶりに低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、110.6で前年比13.9%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、リチウムイオン蓄電池やその他の電子応用装置などが減少し、交流電動機などが増加しました。

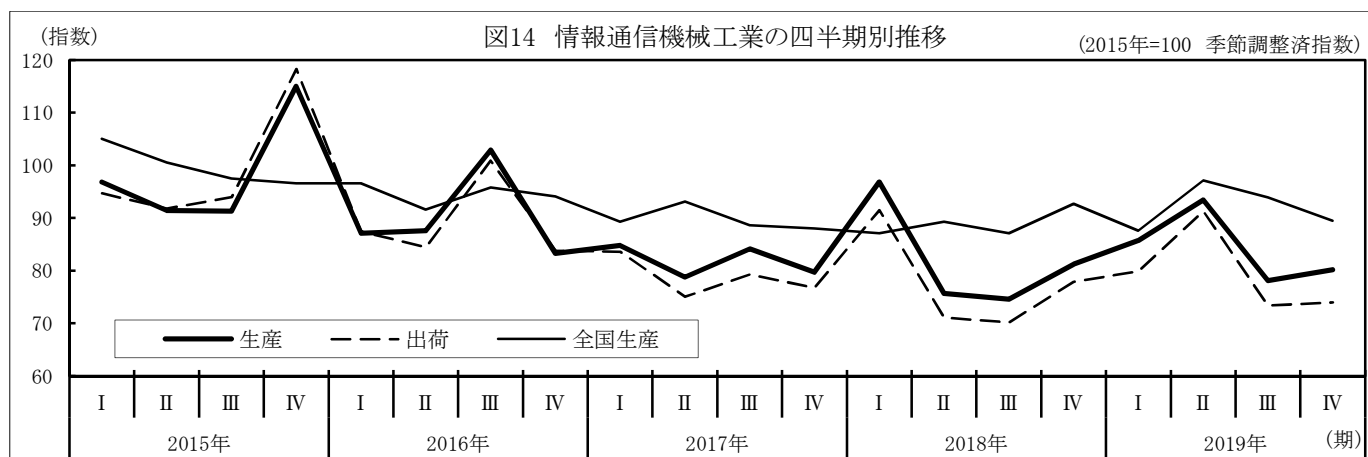
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、351.4で前年末比190.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、リチウムイオン蓄電池や自動車用照明器具が増加し、蛍光ランプなどが減少しました。

## <情報通信機械工業>

－生産は6年ぶりの上昇、出荷は5年ぶりの上昇－



### <生産>

生産指数(原指数)は、82.9で前年比1.7%上昇し、6年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、外部記憶装置や固定通信装置などが増加し、無線応用装置などが減少しました。

また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、91.4で前年比2.7%上昇し、9年ぶりに上昇しました。

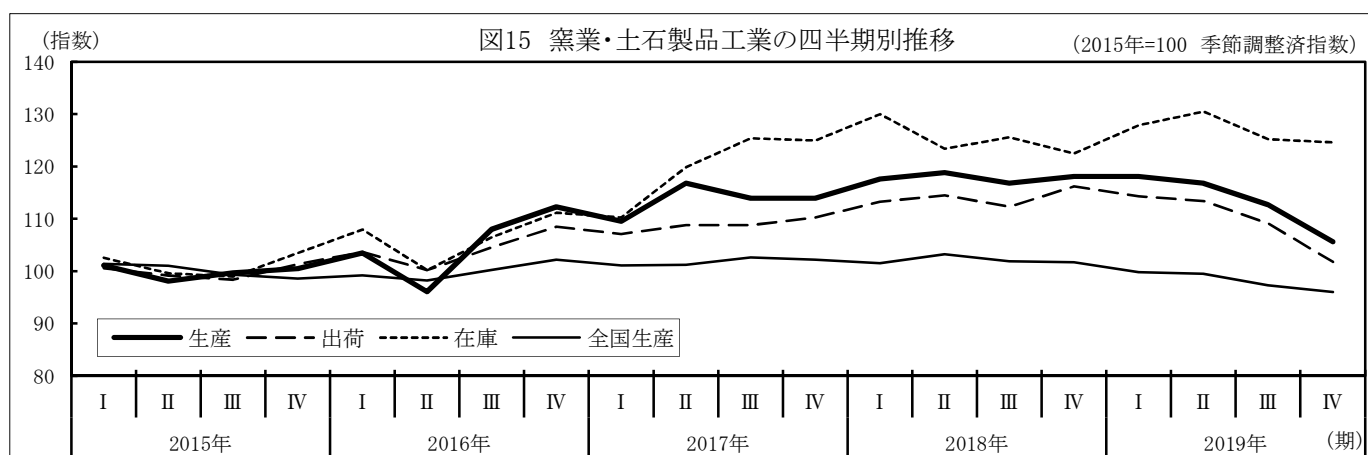
### <出荷>

出荷指数(原指数)は、77.4で前年比0.4%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、外部記憶装置や固定通信装置などが増加し、無線応用装置などが減少しました。

## <窯業・土石製品工業>

—生産、出荷とも4年ぶりの低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、113.1で前年比4.2%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが減少し、ファインセラミックス構造材などが増加しました。

また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、97.9で前年比4.2%低下し、3年ぶりに低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、109.1で前年比4.6%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ガラス基礎製品やガラス製容器類などが減少し、ファインセラミックス構造材などが増加しました。

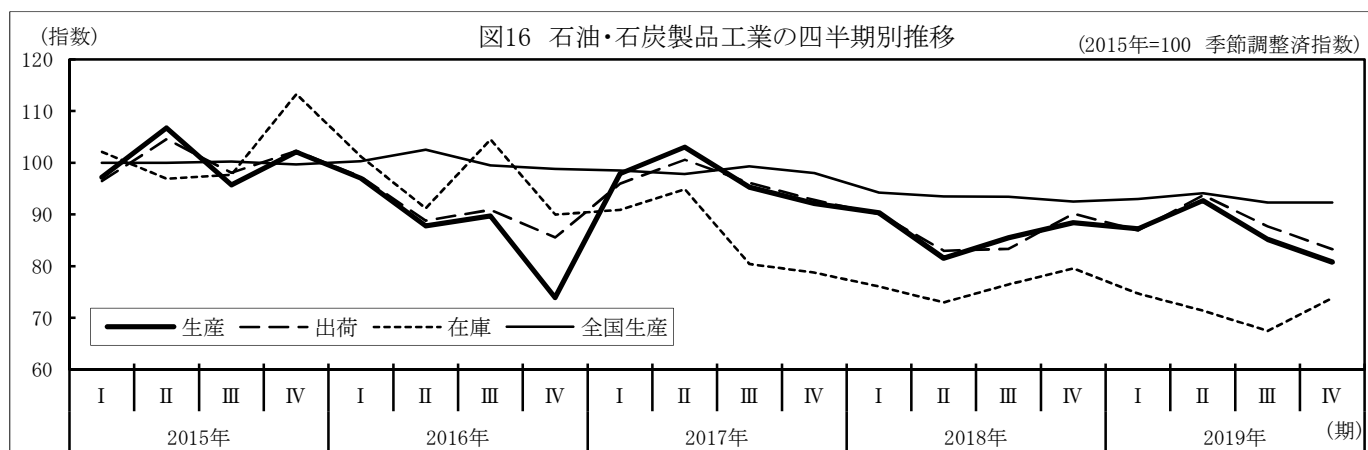
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、119.9で前年末比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、ガラス短繊維製品やガラス製容器類などが増加し、安全ガラスなどが減少しました。

## <石油・石炭製品工業>

—生産は横ばい、出荷は2年ぶりの上昇—



### <生産>

生産指数(原指数)は、86.4で前年比0.0%で横ばいでした。

品目別にみると、軽油やジェット燃料油などが増加し、灯油などが減少しました。

また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、93.0で前年比0.5%低下し、3年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、87.6で前年比1.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、軽油やナフサなどが増加し、灯油などが減少しました。

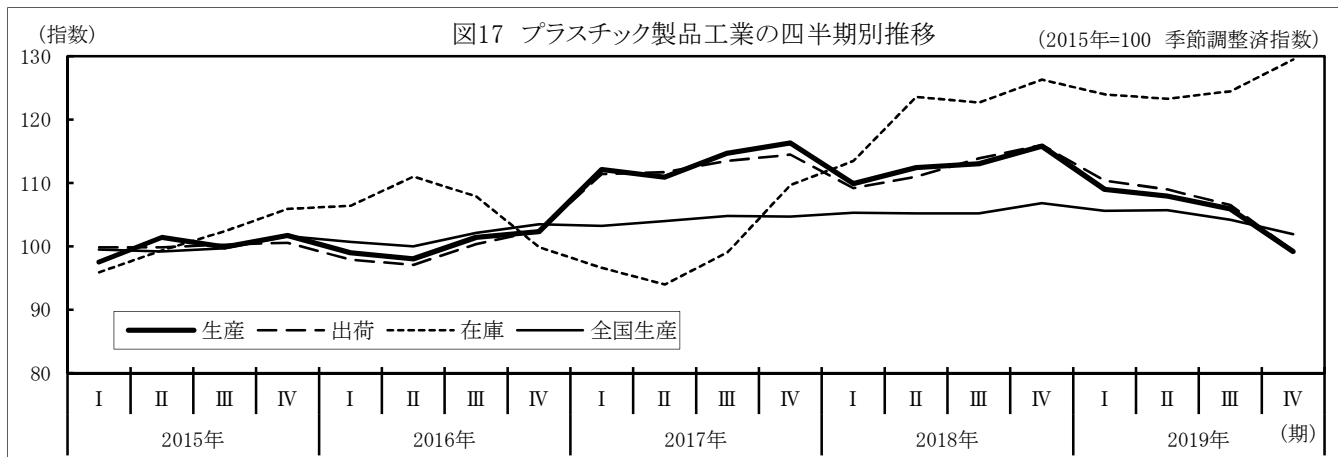
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、69.2で前年末比5.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、灯油やガソリンなどが減少し、B・C重油などが増加しました。

## <プラスチック製品工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、105.1で前年比7.0%低下し、2年連続して低下しました。品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製板などが減少し、プラスチック製パイプなどが増加しました。また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、104.2で前年比1.4%低下し、4年ぶりに低下しました。

### <出荷>

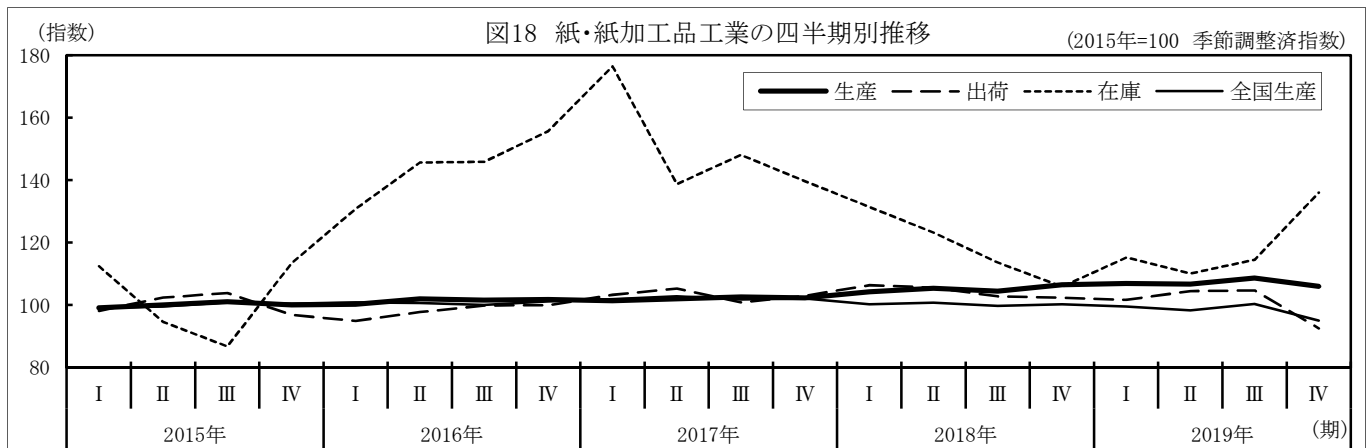
出荷指数(原指数)は、105.8で前年比6.2%低下し、2年連続して低下しました。品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製容器などが減少し、発泡プラスチック製品などが増加しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、128.8で前年末比4.5%上昇し、3年連続して上昇しました。品目別にみると、プラスチック製容器や発泡プラスチック製品などが増加し、プラスチック製機械器具部品などが減少しました。

## <紙・紙加工品工業>

－生産は10年連続の上昇、出荷は3年ぶりの低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、106.7で前年比1.4%上昇し、10年連続して上昇しました。品目別にみると、段ボールシートが増加し、衛生用紙が減少しました。また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、98.2で前年比2.1%低下し、2年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、100.0で前年比4.2%低下し、3年ぶりに低下しました。品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

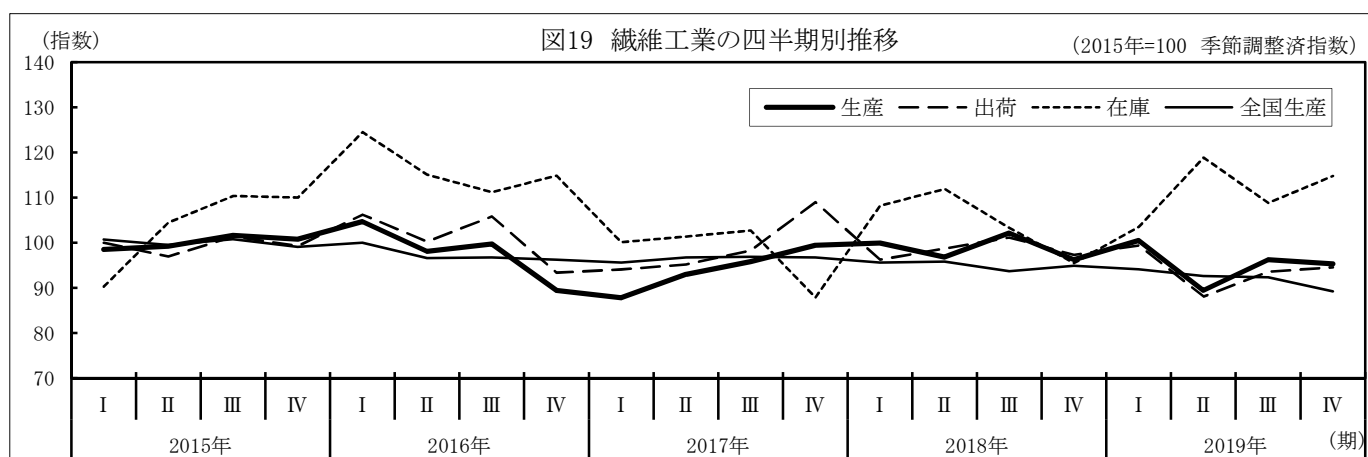
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、118.9で前年末比27.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。



## <繊維工業>

－生産は2年ぶりの低下、出荷は3年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、95.1で前年比3.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、合成繊維やふとんなどが減少しました。

また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、91.9で前年比3.3%低下し、8年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、94.7で前年比3.4%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、合成繊維や不織布などが減少し、ふとんが増加しました。

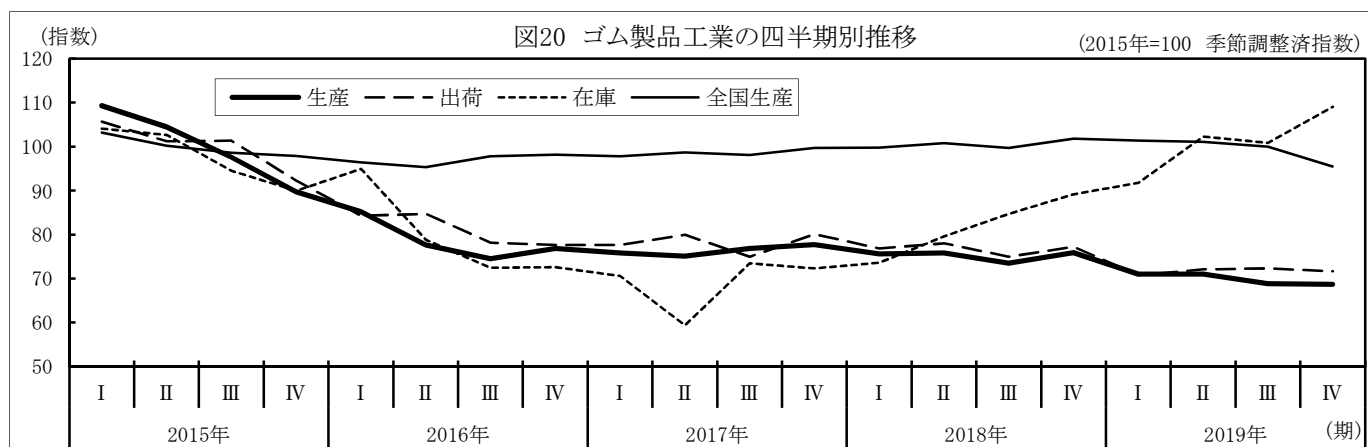
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、114.1で前年末比18.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、合成繊維や不織布などが増加し、ふとんが減少しました。

## <ゴム製品工業>

－生産、出荷とも7年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、69.9で前年比7.2%低下し、7年連続して低下しました。

品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースなどが減少しました。

また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、99.4で前年比1.2%低下し、3年ぶりに低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、71.7で前年比6.4%低下し、7年連続して低下しました。

品目別にみると、工業用ゴム製品やコンベヤベルトが減少し、ゴムホースが増加しました。

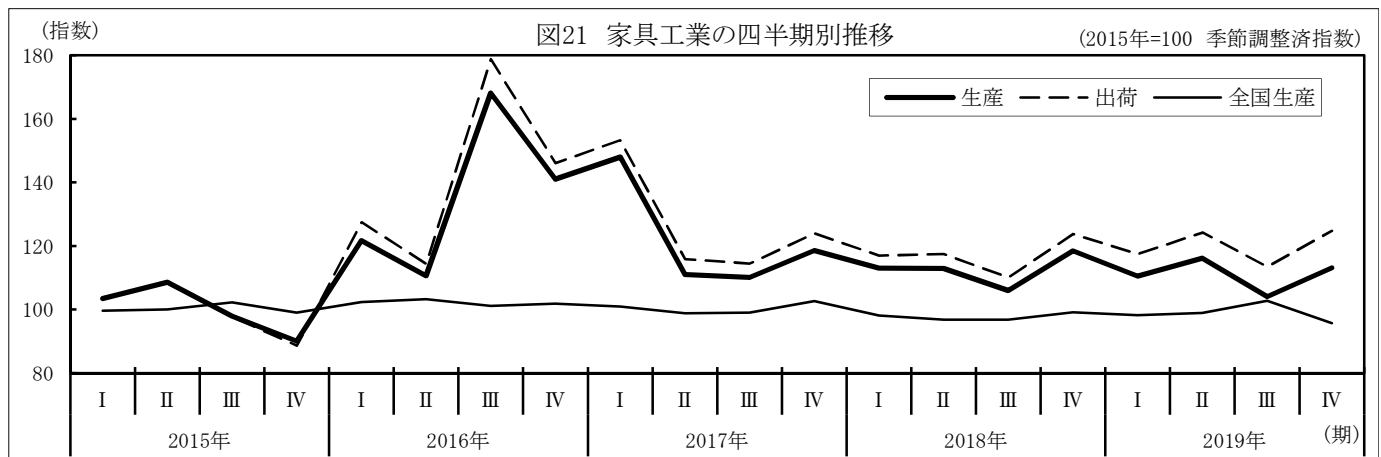
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、99.2で前年末比21.9%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、工業用ゴム製品やコンベヤベルトが増加し、ゴムホースが減少しました。

## <家具工業>

－生産は3年連続の低下、出荷は3年ぶりの上昇－



### <生産>

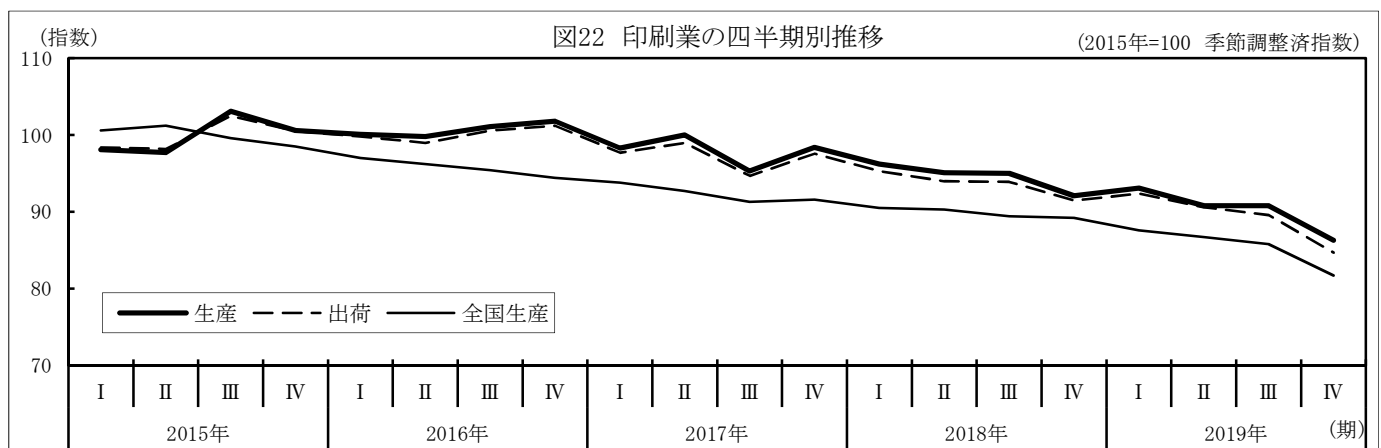
生産指数(原指数)は、111.4で前年比1.2%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、金属製間仕切りや金属製いすなどが減少し、システムキッチンが増加しました。  
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、98.5で前年比0.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、120.8で前年比3.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。  
品目別にみると、システムキッチンや金属製間仕切りが増加し、金属製いすなどが減少しました。

## <印刷業>

－生産、出荷とも3年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、90.3で前年比4.4%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、包装印刷や商業印刷などが減少し、その他の印刷が増加しました。  
また、全国の印刷業の生産指数(同)は、85.2で前年比5.2%低下し、4年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、89.3で前年比4.6%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、包装印刷や商業印刷などが減少し、その他の印刷が増加しました。

### 3 財別の出荷動向

#### － 最終需要財、生産財とも2年連続の低下 －

2019年の出荷動向を特殊分類による財別で見ると、最終需要財出荷指数（原指数）は、100.4で前年比5.0%低下し、2年連続して低下しました。

また、生産財出荷指数（原指数）は、94.9で前年比3.8%低下し、2年連続して低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財は、Ⅰ期は前期比4.1%低下、Ⅱ期は同3.6%上昇、Ⅲ期は同4.2%低下、Ⅳ期も同3.3%低下しました。生産財は、Ⅰ期は前期比2.3%低下、Ⅱ期は同0.3%上昇、Ⅲ期は同4.1%低下、Ⅳ期も同3.7%低下しました。

#### (1) 最終需要財

##### ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、88.7で前年比3.7%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、普通トラックや真空ポンプなどが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

建設財出荷指数（原指数）は、99.7で前年比2.4%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ガス機器やプラスチック製板などが減少し、アスファルトなどが増加しました。

##### イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数（原指数）は、171.2で前年比22.7%低下し、4年ぶりに低下しました。

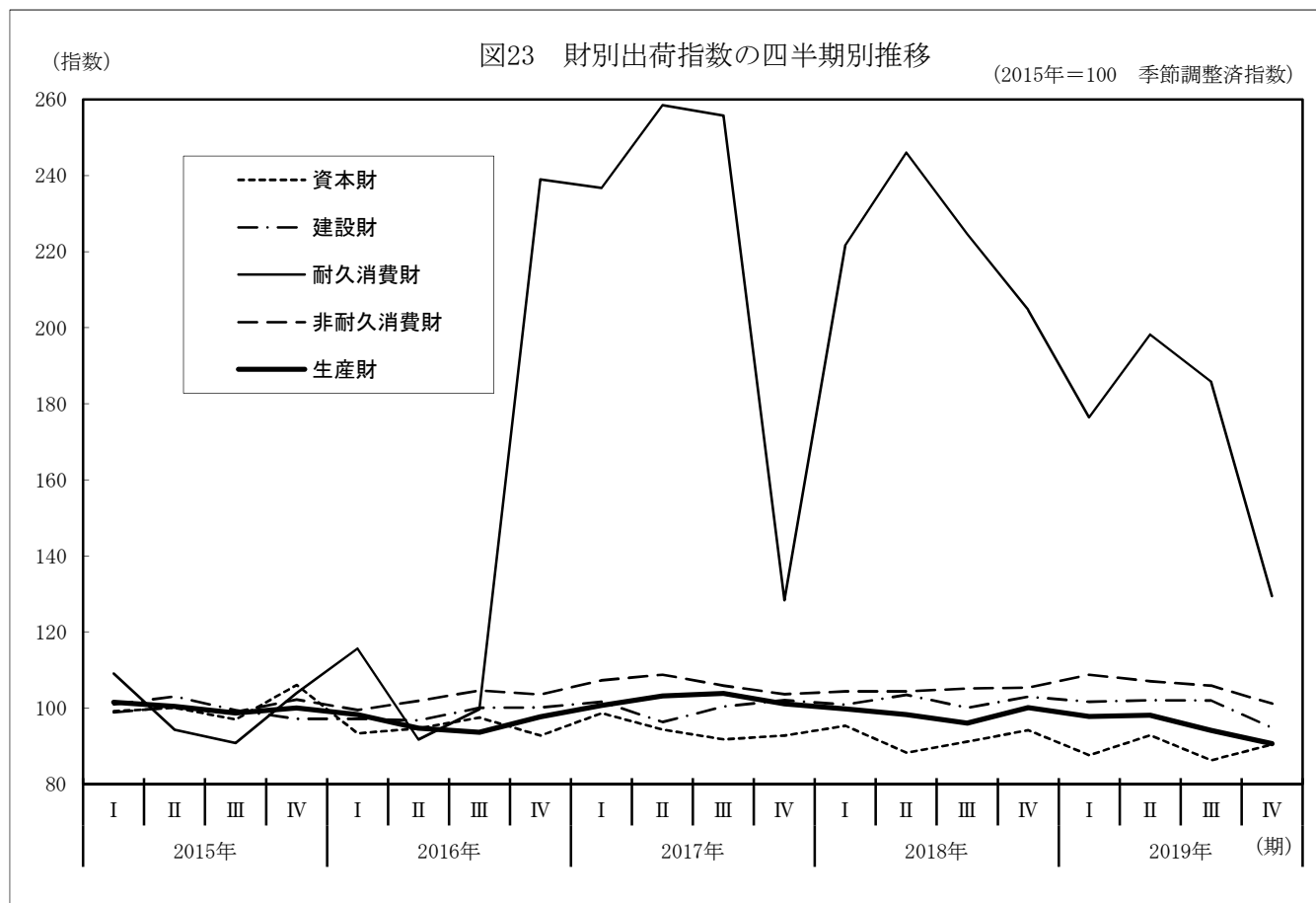
品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、ふとんが増加しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、105.3で前年比0.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、医薬品や合成洗剤などが増加し、チョコレートなどが減少しました。

#### (2) 生産財

品目別にみると、エンジン（自動車用）やリチウムイオン蓄電池などが減少し、軽油などが増加しました。



(特殊分類についてはP 82、P 84表11参照)

表 9 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(2015年=100)

財	年・期	2016年	2017年	2018年	2019年	2018年	2019年			
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	98.5	104.6	102.1	97.7	102.5	99.6	101.6	97.2	94.1
	対前年(期)増減率%	△ 1.5	6.2	△ 2.4	△ 4.3	1.8	△ 2.8	2.0	△ 4.3	△ 3.2
最終需要財	指数	100.6	107.1	105.7	100.4	105.7	101.4	105.0	100.6	97.3
	対前年(期)増減率%	0.6	6.5	△ 1.3	△ 5.0	0.0	△ 4.1	3.6	△ 4.2	△ 3.3
投資財	指数	95.1	95.4	93.2	90.0	95.4	89.1	94.2	87.9	91.0
	対前年(期)増減率%	△ 4.9	0.3	△ 2.3	△ 3.4	3.2	△ 6.6	5.7	△ 6.7	3.5
資本財	指数	94.7	94.7	92.1	88.7	94.2	87.6	92.9	86.3	90.5
	対前年(期)増減率%	△ 5.3	0.0	△ 2.7	△ 3.7	3.3	△ 7.0	6.1	△ 7.1	4.9
建設財	指数	98.2	100.8	102.1	99.7	103.0	101.7	102.1	102.0	94.8
	対前年(期)増減率%	△ 1.8	2.6	1.3	△ 2.4	2.9	△ 1.3	0.4	△ 0.1	△ 7.1
消費財	指数	109.1	125.3	125.0	116.6	121.4	120.5	121.4	120.2	106.6
	対前年(期)増減率%	9.1	14.8	△ 0.2	△ 6.7	△ 4.0	△ 0.7	0.7	△ 1.0	△ 11.3
耐久消費財	指数	141.4	214.8	221.5	171.2	204.7	176.4	198.2	185.8	129.4
	対前年(期)増減率%	41.4	51.9	3.1	△ 22.7	△ 8.9	△ 13.8	12.4	△ 6.3	△ 30.4
非耐久消費財	指数	102.4	106.7	104.9	105.3	105.4	108.8	107.1	105.9	101.2
	対前年(期)増減率%	2.4	4.2	△ 1.7	0.4	0.2	3.2	△ 1.6	△ 1.1	△ 4.4
生産財	指数	96.3	102.1	98.6	94.9	100.1	97.8	98.1	94.1	90.6
	対前年(期)増減率%	△ 3.7	6.0	△ 3.4	△ 3.8	4.3	△ 2.3	0.3	△ 4.1	△ 3.7

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	非耐久消費財	0.4	0.06	増	医薬品、合成洗剤、焼ちゅうなど
				減	チョコレート、化粧品、灯油など
低下	生産財	△ 3.8	△ 1.81	増	軽油、ナフサ、船用ディーゼル機関など
				減	エンジン(自動車用)、リチウムイオン蓄電池、軸受など
	耐久消費財	△ 22.7	△ 1.67	増	ふとん
				減	小型乗用車、普通乗用車、パーソナルコンピュータなど
資本財	△ 3.7	△ 0.90	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、外部記憶装置、鋼船など	
			減	普通トラック、真空ポンプ、マシニングセンタなど	
建設財	△ 2.4	△ 0.08	増	アスファルト、スチール・ステンレス製建具、発泡プラスチック製品など	
			減	ガス機器、プラスチック製板、普通鋼鋼管など	

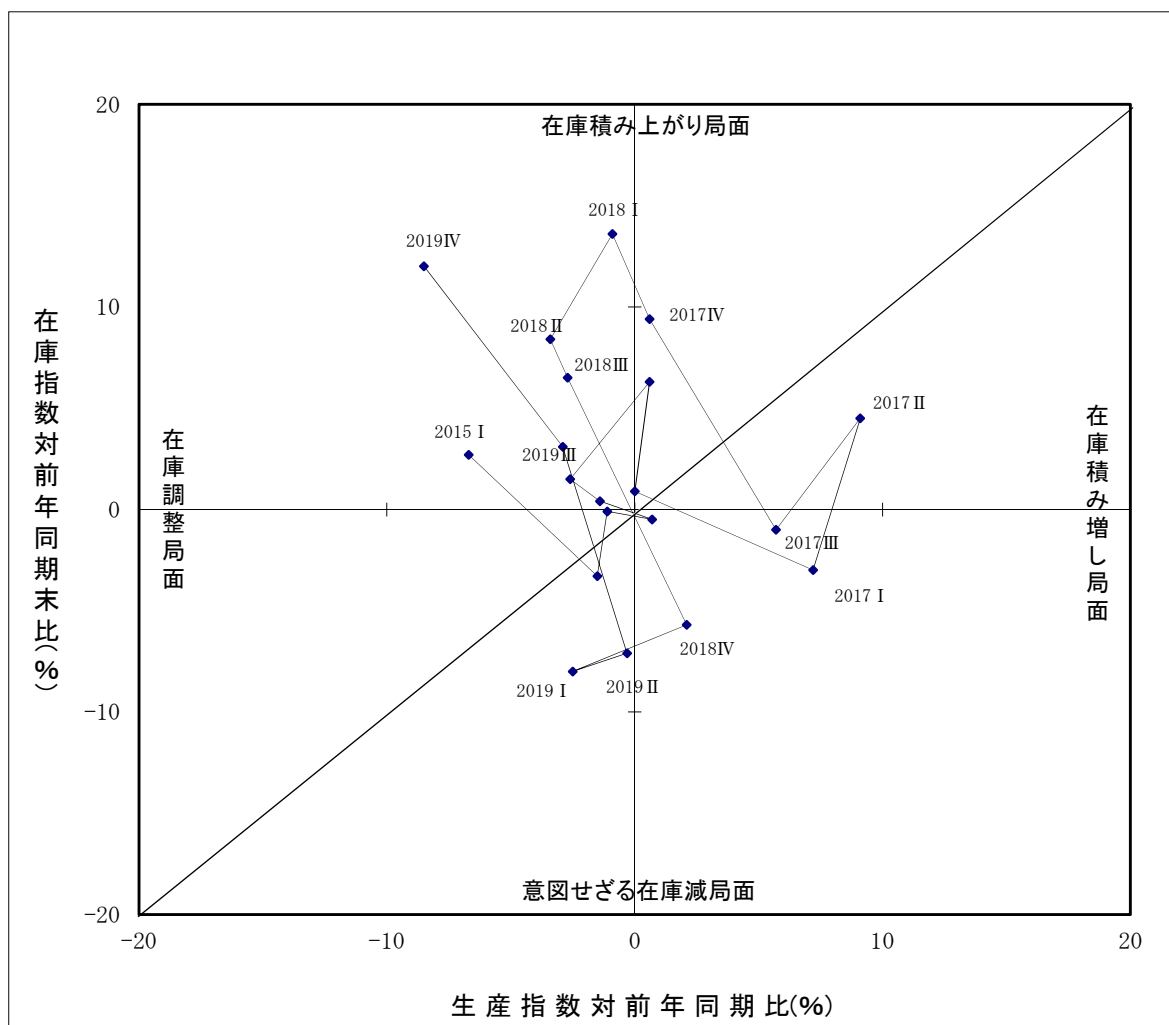
## <参考> 在庫循環図

2019年Ⅰ期の生産指数(原指数)は前年同期比2.5%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比8.0%低下しました。Ⅱ期の生産指数(同)は前年同期比0.3%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比7.1%低下しました。Ⅲ期の生産指数(同)は前年同期比2.9%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比3.1%上昇しました。Ⅳ期の生産指数(同)は前年同期比8.5%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比12.0%上昇しました。

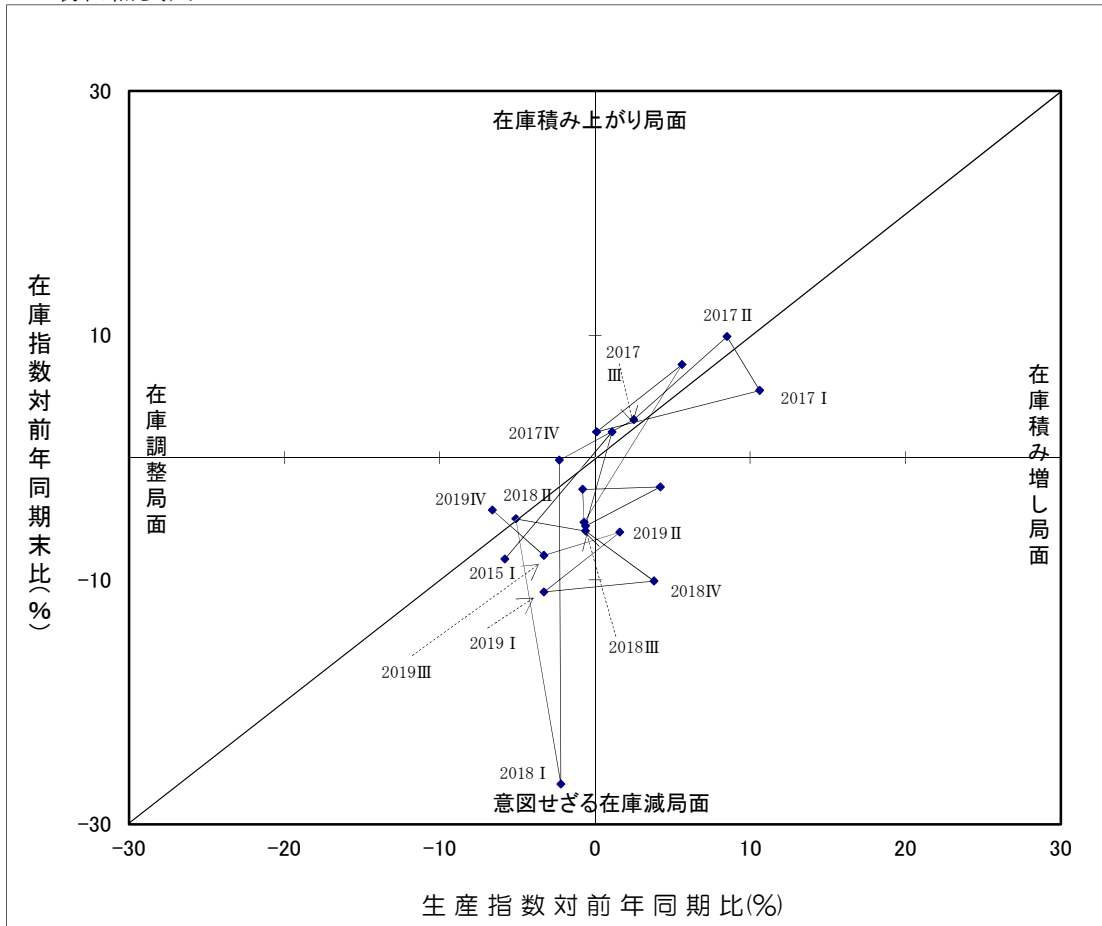
※在庫循環図の見方(生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。)

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

### 製造工業



最終需要財



生産財

